京城日報
THE KEIJO NIPPO 大正七年八月十日 第三千九百九十號 (一)
(明治三十九年八月十日 第三種郵便物認可)

八月九日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇對露聯合國意圖 固より日本の宣言と同様

…ル、タン紙曰く聯合軍は既にアルハンゲルに上陸し西伯利にてはチエツク軍干戈を執り日本は之れを援助せん爲め宣言を發表せり聯合國の意圖も固より日本の宣言通りにて之れ世界の平和維持の爲め缺く可からざる露國の獨立と其の自由發達を念とし露國の主權を確立せしめんとするものなり(東京特電)

◇レニン獨墺行

レニンは兵力の援助を借らむ爲め伯林及び維納に赴くべしと(倫敦電報)

◇佛軍アヴル到著

佛軍はブラーシュ及びモリゼル間に於けるアヴルに到著せり(巴里電報)

◇希臘軍の活動

希臘首相ヴュネゼンス氏の努力により門下一萬五千の希臘軍はサロニカに陣を布きつゝあり(倫敦電報)

◇又復長距離砲撃

獨軍は巴里に對し長距離砲撃を再び開始せり(巴里電報)

◇聯合軍鹵獲莫大

獨軍マルヌ方面より退却せる以來聯合軍は一千門の大砲數百萬個の彈丸多數の彈藥を鹵獲し四萬以上の俘虜を得たり(倫敦電報)

◇張、徐乖離原因

張督軍來津後徐樹錚氏との間疎隔したるが主因は徐氏が張氏に秘密にて四十五旅團を編成し手兵と爲せる爲にて今後の關係は以前の如くならざる可し(北京電報)

◇諮問連盟返電

在京李純氏代表段總理張樹芝氏は天津會議の諮問に連盟の返電を發したるがそれと前後して曹錕は之れに反し明かに南北兩軍戰爭に倦み居る狀況を述べ和議を主張し暗に曹氏の南下を阻止する連盟電報を發したるは事實なり(北京特電)

◇鹽稅剩餘金交附

七日支那側の要求に依り銀行團は鹽稅剩餘金三百六十萬弗を八月分として交附する事に決定せるを以て九日上海、天津に於て引渡さる可し(北京特電)

◇慰問團出發

日本北督教青年會慰問使平山大佐其他一行は十日午前横濱解纜のモント、イーグル號にて晩香坡に向ひ渡歐の途に就くべし(東京特電)

◇三領事協議

哈爾賓佐藤總領事は六日夜來長せる吉林深澤領事及び長春山內領事と七日より會見し或協議を遂げ八日午後一時半歸任せり(長春特電)

◇內地稻作良好

伊藤農産課長談=全國を通じ本年の稻作は麥の收穫遲れたる爲移植期遲延せるも氣候適順今日迄の經過にては極めて良好なりと(東京特電)

◇外米賣捌請願

大阪にては鮮米の外五萬石の外米を市內にて賣捌かんとし市役所及鈴木商店へ農相へ請願せり(大阪特電)

◇期米天井不知

釜山期米市場は八日後々昂騰し平均五圓高を示せり全南一等米四十四圓にして天井知らず白米一升四十八錢を示す價格高きも內地よりの註文多く品稀薄なり(釜山特電)

◎セメて今一年 位は朝鮮に 松川大將語る

六月朝下關に著いた松川大將は宇都宮新軍司令官に事務の引繼ぎを終り山陽ホテルの一室で記者の包圍を受けた『今日一日はゆるゆると下關に滯在して新しい魚を食つて見たいと思つてゐる、上京途中鳥羽京都に寄つて桃山御陵に參拜申上げねばならぬ實を云ふと朝鮮にはせめて今一年位は居りたかつた、軍事參議官任命の辭令を受けたのは先月の二十六日で朝鮮軍司令官任命の辭令を受けたのは恰度昨年の今日になる、日數では少し違ふが殆ど

▲滿一年朝鮮に あたわけになる、出兵は浦鹽の守備に止まる許りぢやあるまいと云ふのか―いや其の事丈けは問うて貰ふまい、凡てが軍事の秘密で云ふ事を禁ぜられてゐるからね、それより此處は朝の暗い內から大變に景氣のよいことではないか、私は京城を立つて朝鮮の沿道でも澤山萬歲萬歲の聲をきいたが實に勇ましいではないか』と云つて居の下の長い髭を引ッ張つたり撫でたり『勿論朝鮮も此の頃では國境に近い丈け軍隊の氣分の緊張してゐる事が內地のそれよりも甚だしい、そして滿洲は高粱繁る此頃が一番馬賊の跳梁時季で鴨綠江沿岸から豆滿江流域に現はれて來る事がある、乃で人民の依賴する所は實に

▲軍隊の守護で あるから人民と軍隊との關係は非常に密な關係にある、滿洲にある日本人で段々セミヨノフ軍の義勇兵になつて行く者があるが、何でも大枚な給金を出すさうで一攫千金を夢みる連中の事だから貧軍になると直ぐ逃げ出す、それはさうと朝鮮では此夏でも溫突を焚く此れは濕氣が室內に籠るが爲めで十日に一回か一週に一回は焚く』(門司)

◎勳章傳達式

八日午前十一時半總督府總督室に於て勳章傳達式を舉行し宇佐美內務部長官以下六名に對し山縣政務總監より夫々勳章を傳達せり

◎土木會議開會

九日午前九時より總督府第一會議室に於て土木會議を開き各委員參集夫々協議する處ありたり

◎米價亂騰を奈何 內地移出禁止は斷然不可能 ―某財政通談―

內地に於ける米價の狂騰は底止する處を知らず從つて朝鮮に於ても之に釣られ昨今の奔騰振りは目醒ましき程にて就中俸給生活者の痛苦は日に甚だしからんとし

▲嘆聲巷間に洽し と傳へられつゝあり余は嚴正なる態度にて朝鮮財政上より今回の米價問題に就き所信を述べんとす元來今回の米價騰貴は他の諸物價に對し均衡を保たん爲めの騰貴と云ふ可き點あらんも主たる原因は內地の米價と常に水平線を保たんが爲めなるは明かなり即ち朝鮮米內地移出の流れを阻止せざる限りは內鮮兩地の米價は常に經濟の原則に基づきて內地に於ける鮮米價額に運賃諸掛りを控除したる價額に迄朝鮮の米價が騰貴する事は理の當然たるなり然らば此際朝鮮の米價を引下ぐる爲めには必然的に起る問題として朝鮮に於ける總ての移出を禁止し防禦令を布くにある事は何人も先づ第一に考へ及ぶ處なる可し又斯くすれば漸くも朝鮮の米價丈けは低落せしむる事を得べし然も事實は如何容易に移出を禁ずる事能はざるを如何せん朝鮮の經濟は米を以て大宗とし半年は政府の特別の恩典に依りて移入稅を免除され內地に移出されつゝあるも常に移入稅問題は鮮米に對する唯一の脅威たりしなり即ち今回朝鮮が移出禁止を爲さば將來內地米にして餘裕ある時は何等の文句なしに朝鮮米に課稅せらるる事は明かなり斯る時に於て果して講ず可きの良策を有するや否や然しながら之を大きく

▲朝鮮統治上より 見るに若し米價騰貴が多數新附の民に對して恐怖を與ふるが如くんば植民地としては內地を犧牲とするも或程度迄の無理をも通さざる可からずそれにはそれ丈けの理由無かる可からず然も何人も見て以て肯定すべき確たる理由なかる可からず然るに米價の騰貴が大部分の新附の民に與ふる影響如何を顧ふに大體に於て農民地主多き彼等は寧ろ中豐年にして喜び居れる有樣なり這は地方に赴く商人が彼等の購買力の增大を傳ふるに見るも明かなる事實なり又商人も好景氣の現出と共に活況を呈しつゝあり苦しむ者は單に中流乃至之れ以下の少數俸給生活者なり之のみを以て移出禁止迄も爲して朝鮮の米價を低落せしむる理由とはならざるなり

▲大義名分の立 たざる移出禁止の如き重大問題は斷ずる能はざる所なり次に現在移出しつゝある數量を半減するが如く移出の制限を爲さば如何這は却て良策に非ずさなきだに荏苒の氣配を續け居れる內地米界は今朝鮮米の移出制限行はれたりとすれば更に上向きとなるは火を睹るよりも明かなる事にして內地の奔騰は更に朝鮮の米價の騰貴を誘致す可き結果となる可し或は總督府は此際補給金を支給して多量の粟を輸入せしむべしとの說を爲す者あるも米價を低落せしむる程度の輸入を爲すには少額の補給金を以て追附く譯なし先般政府が外米を補給するに際して臨時事件費中より或は一千萬圓或は五百萬圓を支出して大々的に輸入を計畫する樣稱し居たるも總督府には果して

▲幾程の餘裕あ りや戰時利得稅の徵收等あれども之を充つるの事を得るや否やも問題なり加之果して輸入して效果あるや否やは更に問題なり況んや朝鮮人中今日の如き好景氣にては粟及び外米を口にする者減少し其の賣行きは現在に於てさへ捗々しからざるに於ておや兎に角此際當局が手を出す事は差控ふ可き事なり殷鑑遠からず農商務省の米價調節策に見るも明かなり當局者は三十萬人の內地人よりも一千三百萬の鮮民の休戚に重きを置かざる可からず經濟上の大局より見て今回の米價騰貴は甚だ喜ぶ可き現象なり之に依り經濟革命起る可く朝鮮の民度も高まる所以なり

▼出穀期迄の需要米は十分 東拓支店長 笹岡一賀氏談

朝鮮の在米が現在どの位あるか、若くは新穀出廻り期までに移出餘力が幾干あるか、

▲喰ひ繫ぎ 得る米はないのではあるまいかと云ふ問題は今日中々難しい事で俄に判斷はつかぬ、昨今各地の米が狂騰するのは色々の理由ありとしても兎に角在米薄と云ふに歸しやう高くなつても出廻りの捗々しく行かぬ所より見れば米は愈々地方にもないのではあるまいかと思はれるが、昨年の生產額昨年來の消費量更に昨年來の移出量を案じ而して尚ほ各銀行や東拓の米穀貸出し額などから觀て來ると朝鮮の地方在米が十一月の出穀期までに喰ひ繫げぬ程缺乏してゐるとは怎うしても信ぜられない、唯かうなつて來て

▲移出餘力 が幾干あるかと云ふ問題になれば予等も俄に移出餘力ありとの說には賛し難いが鮮內で喰ふ米に乏しいと云ふ樣な事實は恐らくないと考へる、然らば大手筋に貯米があるかと申せば現に東拓の如き籾を一萬石足らずしか有たないその他內地人側の大農場筋には米は自家用米にいくらか餘裕を有してゐる位で實際に無いやうだ、これはどうも事實らしい然し乍ら中農殊に朝鮮人の中農筋は南方に於てそこゝに若干の

▲殘存米 を有せりと見て好い、それらを合せた數量は可なり大きいものであらうと考へらるゝものである、尚ほ目先の米價は出廻りが薄ければ多少上がるかも知れずそれがドコまで行くかは一寸此頃のやうに亂調子になつては想像がつかない、又除り在米不足の聲が高いと恰度補助貨不足の聲の高い時補助貨貯藏者を出すやうに貯米者も尚ほ先高を見越して手放さぬ事となる傾向もあるやうだ去り乍ら新米出廻り近しとすれば先高をいつまでも思惑して

▲賣り惜しみ をする譯にも行くまいし、若干の時日が經過したら出廻りも目立て來はすまいか

◎七月中 朝鮮貿易

●二千三百十三萬五千圓●
●入超四十一萬一千餘圓●

七月中に於ける朝鮮貿易概況は輸移出總額一千百三十六萬二千百八十三圓輸移入一千百七十七萬三千二百一圓總計二千三百十三萬五千三百八十四圓此輸移入超過額四十一萬一千十八圓にして重なる輸移出入品を擧ぐれば左の如し

▲輸移出重要品(圓單位) ▲米四二四一〇六八▲小麥一三六〇▲大豆三〇五〇七七▲其他豆類四八九〇▲魚類乾二一三一六▲乾貝二一九七一▲人參五七七九▲棉花二九〇九〇▲繭一八二二七六▲金鑛及び沈澱九〇六五六▲鐵鑛一二八八四▲重石鑛九一五三九〇▲黑鉛一一九一三三▲石炭八三七七〇▲合金銀粗銅四七八〇六四▲銅塊及び錠四〇九九三▲牛皮二二二三四▲皮革製品二三三二九▲煙草一三三三六三▲生牛一六〇二六▲海藻二〇一二一▲肥料一八〇六四三▲其他雜品一九一四七六六▲陸接國境輸出品一〇七八九四

▲輸移入重要品(圓單位) ▲米一一九七六八▲粟二四八一四八▲小麥粉一一〇四二二七▲食鹽一二八二八四▲菓子及び椅子一四五八四▲砂糖二六一七五五▲清酒四八九五五▲麥酒六一五二二▲石油五八八八一▲槇綿及び打綿十七〇六〇▲綿織糸一一九六一▲生金巾及び生シーチング一一八一〇七▲金巾及び晒シーチング一三六一〇〇三▲天竺布六八八七六▲綿獨子及び綿イタリアンス四三一二〇▲日本木棉三三七〇八〇四▲支那綢布五三四八七二▲毛織物八九八六六▲絹織物二七一九四▲カンニ翁九一八九▲靴及服物九一三二一▲洋紙一五〇七一四▲其他の紙類一六三九六一▲文具類五六七七二▲鐵鐵一九七三〇八▲鐵筒及び管六九一八三▲鐵釘三四二二八▲軌條及び同附屬品九四〇〇七▲諸機械一一五二九五三▲燐寸六七一四七▲生皮諸皮二四一〇三▲銅鐵三三五九▲石炭八三〇三〇二▲陶器及び磁器五八七七九▲木材及び板二四一三九四▲セメント二三〇三五一▲縄及び筵三八八一二▲[illegible]二一四一五▲マッチ六九五二九▲[illegible]〇九九九▲小包郵便物九〇六八〇八▲其他諸品四〇〇〇三〇五▲陸接國境輸入品一五五四〇三

▲正貨及地金(圓單位)

	輸移入	輸移出
金貨及地金	四八五九三〇	一七九八九
銀貨及銀地金	―	二四五〇

◎京城大阪間 電線直通 當局の對應策

京城大阪間の電信線は從來中間に釜山局接續となりゐたるを以て每日一時間中の二十分は釜山大阪間の通信に委し京城大阪間は一時間の四十分に留まり居りしが近來京城大阪間の電報激增して兩地の發著著るしく遲延する傾きあり更に今後も商取引その他の關係は益々增加を來すは明かなる事實に付遞信當局にては此の狀勢に對應策として京城大阪線を直通とし中間連接局の釜山を除く事となり九日より直通通信を開始したり其の結果京城大阪間の電報は從來より著るしく迅速すべし

▲釜山大阪間 京城大阪線より除かれたる釜山と大阪間の電報は一日約八百通內外の夥しきに上り釜山下關線の利用にて下關經由大阪著發をなし必ずしも通信上の故障なかるべしとの事なり

◎殖銀株割當了

殖產銀行設立事務所にて計算中なりし株式割當は八日終了に付同日內地朝鮮滿洲共通知狀の發送を了したるが各地の割當は結局左の如くなりたり

	割當	優先
東京	二四五一二株	四五九株
大阪	同 五四六二一	同 ―
其他	同 三五八九	同 ―
朝鮮	同 五四〇七	同 一二〇
滿洲	同 一〇九三	同 五七一

以上割當十三萬六千四百二十三株中優先四萬九千四百十一株にして其の總株主數は現殖銀株主を合し約八千人となる由

◎仁川取引所休場

仁川米豆取引所にては九日前場第三節を終りて後場以降に對して臨時休場を宣したるが之が理由とする處は主として市場の人氣漸く沈衰し弱氣の賣入れ益々深甚となり從つて取組高も增大せん形勢なると共に稻米混亂の狀態に陷りたるより之が整理を爲さんが爲に遂に休場せるに至れるもの如し之に就き仲買組合は直ちに仲買人委員長淺松太郎氏宅に招集し善後策に就き打合せを爲しつゝあり後場は通常の如く立會の運びに至るならんと觀測されつゝあり(仁川)

◎軍人後援會員募集

軍人をして後顧の憂ひなからしめ且つ尚武思想涵養の目的を以て本部を東京市に設け各樞要地に支會又は出張所を設置し軍國の爲に貢獻しつゝある帝國軍人後援會にては今般京畿道部會京城分會を設置したるが目下時局多端の折柄同會の活動を要すべきもの多々あり當地各方面の有志者は率先入會せられんことを切望すと其の旨京城府尹金谷氏は夫々通牒せりと

◎軍人家族慰問

京城府尹金谷充氏は京城軍人後援會長として八日遺留〇〇されたる〇〇軍人八十六名の家族慰問を爲し同時に其狀況を視察せるが救助を要すべきものに對しては一兩日中に調査をなし相當の救濟方法を講ずべく而して之に要する財源は先年青島出征の際の義捐金剩餘金を以て充當すべしと

◎高嶋中將著期

新任第十九師團長高島友武中將は來十九日朝龍山著々任の豫定也と

◎高橋少將出發

新任廣島灣要塞司令官高橋少將は九日朝南大門驛發列車にて出發赴任の途に就きたるが停車場には官民多數の見送りありたり

◎村田武官入京

高橋少將の後任たる總督附武官村田信乃少將は九日夜南大門驛著列車にて入京すべし

◎南下の途上より 老禿

奥田部長足下

◎東電切りに時局の危急を報ずる一昨今にして足らず西電は每に報じて曰く北滿は不穩なり、西伯利亞の危險、北滿一帶の不穩及び浦鹽の秩序破壞、頻々として來り到る最近チエツク軍の狙擊と獨軍の敗戰等老禿の心胸を衝く少からざるもの有之候

◎八月某日夜半、久我木村兩君、長途旅行般の宴は極めて盛會にて醉步蹣跚として我家に歸り來り誰の氣力もなく其のまゝ夢の國に遊びしも其の夜半、飛電鈴より〇〇下れり〇日〇〇時〇〇分〇〇聯隊に至れさ

◎柳田史兵衞は謹んで『要臥病床見送仰』と老禿の現在其程迄の境地にはあらずさ誰も浦鹽の漂浪正に七年、恒心なき者、鎗を戰せて江畔に來り往るして未だ一歲に滿たず踐鬼の門前に營む一事は淫し出色の技にて有之候

◎兵は寄にして而かも拙速を尚ぶさ知らず老禿、如何の縁にか出つろ、諸鮮の各地商機釋裡に醉頭を走るもの日毎の新紙上に多きを增す、老後の思ひ出に驍兵急ぐは非功を收むるの捷徑さ存じ候

◎同鄕同好の諸士によつて催されたる別宴、夏の夜短しさは云ひながら案外に長く、鷄鳴曉を告げて征衣の袖に重きを感じ申候、驛頭小子のお土産を澤山に子と云ひしは果して何んの要求せしやさ今に解かねる難題にて有之候

◎歩を乘せて南下する長蛇、日盛りに甲氣愈加はる稻臥せる顏より汗の流れて止まず、宿靜漸く醒めての聲に目を開らけば平壤驛は今正に…る趣りに睡にて候

◎南大門驛の一聲より京釜線の南下は夜中の事とて多くを記するに足らず翌朝午前五時半、釜山棧橋に著けば昨日來の風は連絡船の入港を許さず朝便は航さ、春風秋雨七星霜思ひ出多き朝鮮に訣別の名殘を惜しむには恰當の事と存じ釜山市中を散策し夜便を以て出發門に向ふべく候

◎北邊の指標は玄海なして浪荒らからしむるか、漂茫たる海波天に連つて書く且つ黑かるべく候、今夜に從れて南に走る、黑潮に迎へられて北に馳す、はそも何れの日で待ち侘びしき事の限りにて候、さらば十三道の山よ水よ永久に若く永久に若かれ、さらば!

◎岡本少將發期

第十九師團參謀長より習志野騎兵第二旅團長に轉補せる岡本功少將は十五日午後七時五十五分龍山發任地に赴任の豫定なりと

◎川上理事北巡

川上東拓理事は米山庶務課長、木村七木技師を帶同九日朝南大門驛發列車にて元山咸興方面視察の途に就きたるが來る十四日歸京の豫定なりと

人事消息

▲川上瀧夫氏(東京女子高等師範教授) 九日朝退京
▲雅賀氏(辯護士) 十日朝平壤より歸京の管
▲永谷千萬吉氏(平壤鑛業所長) 八日附二週間の豫定にて京城より徳山へ出張を命ぜらる
▲中山再次郎氏(京都府立第二中學校長) 十二日より京城中學校に於て開會さるべき公立小學校並に普通學校教員講習會の體操講師を囑託せられ九日夜南大門驛著入京
▲柳保博士 八日元山より入京浦尾へ
▲渡邊步兵大佐 八日午後奉天より內地へ通過
▲ベーエル、チゾドロ博士(セブランス病院) 外米國醫師二名八日夜北滿へ
▲龍野務吉氏(安州憲兵分隊長) 八日夜安州へ
▲藤井安藏氏(總務局總務課勤務) 九日朝全南より著任
▲小山金三氏(辯護士) 九日午前入京浦尾へ

茶前酒後

◆老て益々壯んなる馬越恭平翁、百年の若死する者を老人と云ひ、奮闘する者は青年也と云ふ。好い事を云つた者也。更に其人批觀に曰く、近頃の世間は大計に志し悧慧が三分で、俠氣が三分、後の四分は女の話でもして置けば可いと。流石は老練なもの、矢張り俗中の巨頭。

◆奇拔で鳴らす武藤金吉君、歐洲の戰亂、私に苦しめらる、事、傳染病以上也と聞き、兩研究に沒頭し、近時其結果を發表して曰く、日本の紡かぬは、紡織物に限ると、出身丈けに我田引水の觀あるも莫國のゼノワでは大に感服すべし。

◆何度農商務省を手古摺らす、米界攪亂の張本人、伊藤延、增田、鈴木長等の連中に對し、戰時利得稅賦課に決す。三人合すれば其額四十萬圓也と、痛快也、之等に遠慮會釋は無用也。

◆大人氣の浦鹽の物價は、其の高きこと目玉が飛び出る程にて、風呂が一と浴び一圓、散髮が二圓、活動芝居を見て、珈琲を飲めば、二十圓より三十圓は飛ぶと。聞いた丈けでも、小心者は目玉がギクギクすべし。

◆米價日に騰騰し、貧民の饑に泣く者多し。お互と云へば其れ迄なるも、宗教家、慈善家は、一掬の涙なきや。嗚呼誰か當年の與賀五兵衛は無きか。

◆內地富山には米價暴騰の結果、女房連の一揆起る、成る程一番直接に、手許の困る者は女房なるべきも、此の点聊か宿六の顔色なし。

◆縣令井上孝哉君、曾て東拓で磨した腕を振ふの時也。『秋骨し女房共のやかましさ』、はいかゞ。

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲シヤモット煉瓦(三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルタ―其他耐火物各種
平壤府橋口町(電話壹貳五番)
合資會社 京谷商店

金儲 を望む方は 貨殖新聞 をお讀み下さい
日本唯一實益記事滿載
全國各地に有利なる支局を開設す、申込次第細則進呈
申込次第一部無代進呈
大阪市九條通一 貨殖新聞社

原料貸與 職業
前途有望なるパナマ帽子及ゴム職業年中無休自宅就職製品引受工賃現金拂內職案內書御一報次第呈す
代理店募集
大阪本町信濃橋東詰振替大阪一〇七〇六
東洋物產合資會社

胃腸病とタラコン
普通胃腸の藥は唯だ一時の消化を助くるか無理に胃液の分泌を促すか又は胃液を中和するだけですが此タラコンは弛緩せる胃壁の筋を引締めて其活動を順調にし胃液を整へ消化を十分にして吸收を好くし健全な身體となります胃腸病に苦しむ方は是非御試し被下タラコンの一瓶服用なるも頑固な長年の胃腸病でも顯著な效力があります
藥價五十錢一圓二圓 送料八錢 海外廿錢
本舖 東京小石川下富坂町廿 無量壽藥園 電話小石川二〇五六 振替東京二〇〇三二

男に限り進呈
青年も老人も生殖器衛生上必要の圖入說明書をハガキで申込者に無代進呈す
東京本材木町三ノ二五 東京新療法研究所
大阪市北區北森町一 大阪新療法研究所
朝鮮京城本町二ノ七一 朝鮮新療法研究所

京城西小門町二一番地
田中丸病院
院長 醫學士 田中丸治平
副院長 醫師 上野和夫
電話八八五番
【入院隨意】 普通病室隔離病室の設備あり

金持
金持になる近道は外にない、世間の資本で安全確實に儲かる株式投資法(說明書申込次第送る)
東京市芝區愛宕町二ノ一四 電話芝三九九六番
內外諸公債株式 債券現物問屋 葵屋商店 振替東京四二〇五〇番

謹告
當組合に於ては從來裂地類は何品に依らず一割差入にて提供致居候處其後諸物價は天井知らずの高價にて到底以前の如く差入致す事は出來兼ね不得止組合一同協議の上本日以降總て裂地類は差切に協定仕候條不惡御承知被下度以紙上謹告候也
八月七日
京城吳服商組合

醇良無双清酒

衛生無害品質無双
發賣元
京城府黃金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山港幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

時計及蓄音器卸商
創立明治二十八年
京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電一〇一五・振京城七八二

大正七年七月一日改正現行

[illegible]

◎慘たり矣 下層民の群

「米價狂騰に苦む彼等のどん底生活を見よ

◇日收五十五錢で一家六人の饑を凌ぐ某局の傭人◇

米價は遂に三十九錢となり今後如何なる程度までに昂騰するか前途を豫測し得ない今日此頃、悲慘なのは下層民の生活である記者は彼等の生活狀態が米價の騰貴に依つて如何程までに、壓迫されて居るかを觀んがために、京城の貧民窟と言はれて居る各方面を視察した、其結果想像以上慘澹たる貧民生活を看た、以下掲ぐるは小說以上の小說たる下層民の實狀である。

本人のために住所を秘して置くが某局に勤めて居る芦田(假名)と言ふ傭人がある同人は日給五十五錢で家族六人を養つて居るが、日給の事とて月收にすると平均僅十四五圓に過ぎないから到底

◆一家族の糊口 を凌いで行く事は難儀である今年の冬は一間の混突に六人の親子が重なり合つて寢たが混突を温める燃料も無ければ夜になつても燈火を點ける事も出來ない從つていたいけな子供等は親の手を息で温めながら家の中で抱合つて居た、八つか九つになる子供は

◆兒童の群と橋 を壞したり滿飯を外したりして僅な暖を取る事に苦心した、併し恁うした悲慘な境涯にあつても米價はまだ一升に就いて二十錢內外であつたし豆も小豆も馬鈴薯も安かつたため、十二三圓あれば辛うじて六人の糊口は凌げたが出兵問題で

◆米價が昂騰し た、豆飯は以來は急に苦しくなつて、豆飯は芋の粥となり、薩摩芋となつた子供は食事毎に米の御飯が食たいと泣いたが、果ては薩摩芋でも宜いから食さして呉と强情やうになつた斯くて

◆貧困は日一日 と激しくなつて行くに隨つて四人の子供は瘦せ細り芦田も營養が不良で顏も手も彈力のない澁皮のやうになつて了つたので遂に七つになる子供を水原の知人に僅な惠み金を受け取つて與へ渡る

◆乳呑兒も母乳 が出ないため骨と皮ばかりになつたのを何處か情ある人の袖に縋つて養つて貰ひたいと言つてゐるさか、家賃は無論昨年から支拂はないので本月の始め家主から頑硬な追立てを喰つたため今は鮮人部落に引込んで居るが

◆昨今は白米を 口にする事は出來ず止む無く軍隊の殘屑瓜や豆に依つて露命を繫いでゐる、僅々五六十錢の薄給に依つて生活して居る官廳の傭人や會社の小使の中には恁樣悲慘な生活をして居る者が多い、彼等は今や米價調節の如き

◆生温い救濟策 では到底濟はれざる者となつた、必死になつて焦り悶き苦しみつゝ餓鬼道に陷つて行くのが彼等の實狀である

▼營養に富む 大豆粕飯 その上白飯より美味い

某實驗者談

朝鮮に供給の豐富なる大豆粕の食用法研究は時節柄大に興味のある事なれば自分はこを團子にしたり麵麭に燒いたり餅についたり飯に炊いたりして食用して見た、其內最も味の勝れたものは豆粕餅で次ぎに味の好く實用的なるは

▼大豆粕飯 である之は大豆粕と白米とを容積で一と二の割に混合し普通の飯の如く炊くのである之れに使用する大豆粕は大豆粕を云ふのである、此大豆粕は時價十貫目三圓五十錢內外であるから之を白米に比すれば

▼半額より 安いのであるだから一般に此大豆粕飯を食用する事になれば大に白米の需用が減じ米價は自然に低下して政府の力でも不可能なる米價の調節が容易に出來るのである故に大豆粕飯の食用奬勵に力を致されん事を希望する最後に臨んで附加して置きたいのは大豆粕飯は口觸りが宜敷くないと云ふ人がないとも限らぬが二三日食用すれば必ず

▼白米以上 の美味を感知する事が出來るので之は自分の經驗上確に保證する殊に此大豆粕飯は單に滋養に富むのみならず腳氣病には大効あるもので合衆國政府は此大豆粕飯を腳氣病に應用してフイリッピン島民を腳氣病から救濟したと報告して居る

▼合理的の安價生活法

高價の食物は健康上必要なだけ食ひ 何でも利用せよ

自然科學の說明する所によれば吾々の攝取する滋養分には蛋白質、含水炭素及び脂肪の主要成分がある、而してこの三つのものは人體の活力を維持する上に缺くべからざる三大要素であるから科學的に見て食物の價値は當然その含有する滋養分の多少に依て定めらるべきものであるけれども科學上の所謂食物の

◇價値は 市場に於ける食物の代價と必ずしも一致しない茲に於て比較的營養價値の多い食物を安價に購めて生活する工夫が必要になつて來る自然科學を基礎とする合理的安價生活法の存する所以である先づ吾々の食事の場合は凡(一)一定の制限を設けずに飽食する者(二)活動に必要なる分量を限度とする者(三)健康を維持し得れば足るとなす者に分類することが能きる食物の豐富な平日にあつては健康なる者は食量に制限を加へずに何食するのが安全である康健は必要な丈の

◇營養分 を攝取して了ふからである然るに今日の如く食料品が騰貴してる場合高價の食物を無制限に攝取することは一種の贅澤と云はねばならぬ凡ての食物に制限を加へることは無理であることは一層困難である故に斯る場合は少くとも高い食物丈は健康を保つに必要な分量を限定することが肝要である次ぎに注意しなければならないことは無駄を出さない事である日本人は刺身を好むこと最も多い國民であるが消化の

◇容易な 刺身を喰むことは決して悪いことではない只多量に生ずるアラを利用する事を忘れなければ好いのである魚類のアラは肉汁にもなればアラ煮の材料にすることも出來る獸肉の殘物は日本の家庭では殆んど利用して居ないけれどもその片端は腸詰の好原料になる又血液や內臟からも立派な腸詰が出來る野菜の切端や皮か、つた葉なども徒らに廢棄せず他迄も利用しなければならない最後にお勸めし度いのは古來充分に研究せられて來た救荒植物の採食である山野に散在する野草の中には野菜の代用となるものが決して尠くないのである(總督府醫院[illegible]談)

▼外國米を食へ 味は少々惡くとも營養に變りはない

米價の狂騰は既に細民の問題でなく全市民に對する生活上の一大脅威であり一大苦痛である此際思に付かぬ問や見得を憚つて何時迄も高い米を食つてゐる必要はない出來る限り安價生活の途を講じて生活費の節減を圖るのが

◇安全第一 である夫には先づ第一に安い外國米を盛んに食ふこと甘藷、馬鈴薯等の補食物を盛んに喰ふことも頗る時宜に適した一方法であらう、一口に外國米と云ふと一般の人が如何にも嫌つてゐるが多少味は朝鮮米に比して劣つても之に含まれてゐる營養分には餘り違ひがない、朝鮮米の上等品は蛋白質は少し多いがこれを平均すると殆んど同一である

◇外國米と 異る處なく熱量は却つて外國米の方が多い位である又米と芋を比べると芋類は米よりも水分は多いが固形物中に見てには粗纖維が少々多いので芋の蛋白質の如き寧ろ米よりも多量である、けれども米も芋も其主成分は澱粉であるから食物としては殆ど變りがない譯であるされば

◇食物經濟 の上から第一に外國米を用ひ次に馬鈴薯とか甘藷を代用するのが宜いこれが非常に飯米の足しになるのであるから斯して國民が一割の米を食ひ延ばしさへすれば政府の調節令以上に米價の調節上効驗があるのである姑息ながら之も一つの調節法である

食物分析表

	水分	蛋白質	脂肪	纖維	可溶無窒物	灰分	百分中の有効熱量
洗白米(朝鮮)	一四、八八	六、四五	〇、二五		七八、五六	〇、三五	[illegible]
同(外國)	一三、一三	六、四三	〇、四一		七八、四七	〇、五六	[illegible]
甘藷	六六、二八	一、三五	〇、一九	二、四八	二八、七七	〇、九三	[illegible]
馬鈴薯	七六、六〇	一、四九	〇、一〇	一、三六	一九、二三	一、〇三	[illegible]

◎米赤十字救護班出發

米國軍の西伯利共同出兵に伴つて東京米赤十字社日本支部からはセンター、オブ、インターナショナル、ホスピタルの隊長トイスラー博士が救護班を率ゐて浦鹽に出發した時にトイスラー博士から急に接した京城セブランス病院長ラッドロー博士も米赤十字朝鮮支部から一行八人の救護班を組織して八日夜慌惶として哈爾賓へ向け出發することゝなつた統率者ラッドロー博士は『僅かの猶豫で何も用意も出來ませんでしたまだ彼地へ行つて見なければ果して何れの方面に又何れの任務に服するのやも判り兼ねます……』と語りつゝ居た寫眞は米赤十字朝鮮支部より組織した救護班の一隊である向つて右より二番目十字旗を手にするのが統率者ラッドロー博士である

◎生活難から自殺 投身し損ねて足を挫いて死

八日夜十時頃龍山漢江の人道鐵橋下の砂原を矢鱈打廻りながら救ひを求め居る一名の朝鮮人あるを通行中なりし龍山分隊の憲兵補助員が發見し直ちに人夫を雇ひて同人を分隊に擔ぎ込み醫師を迎へて應急手當を加へしが同人は兩腳を骨折し鮮血に塗れて呻吟し居れるが取調べの結果京城禮智洞二百十四番地李鍾郁(五〇)と言ひ附近の某內地人方に雇はれ中のものにて多額の負債を生じ生活難の爲め漢江の激流に投身して自殺せんと橋の欄干より飛び降りしに現場は水流こ思ひきや砂原なりし爲め溺死するに至らず高さ四十尺もある高さより墜落したることゝて前記の怪我をなしたるものなるが手當を加へしも九日午前三時頃遂に絕命したるより屍體は檢視の上家人に引渡さる

◎若き婦人漢江橋より投身

八日夜の出來事 八日午後七時頃龍山漢江橋より[illegible]

◎大阪五十一錢 小賣白米相場

大阪の在米高は僅々三萬石にして米價は遂に一升五十一錢に昂騰せり(大阪特電)

◎急行列車延著

八日午後七時釜山着急行列車は大邱津にて機關車故障の爲め二時間延著せり(山特電)

▽出征軍人家族訪問記(一)

最近の〇〇によつて京城府でも在住者〇〇名の〇〇を見たのである、本社は即ちその〇〇宅に慰問の訪問をはじめた。

▽心配し乍ら〇〇 小西識君

大正館の裏手鮮人家屋を改造して一郭をなし內地人の住居してゐる櫻井町二丁目四十九番地に〇〇した小西識君の〇〇宅を訪ねる、聲に應じて出て來たのは隣家の人——小西君が近しくしてゐたのであらう五十に近い女の人で右手の方に、今は荷物もなくてガランとしてゐる濕淡の元小西君宅を指しながら語る『小西さんは、この間中は京畿道の揚州郡こいふ山の方の兄さんの所へ行つて百姓をしてゐたんです、家內は無く二十四歲で、何でも〇〇の十三番だとか云つてゐましたが、〇〇が出る方へ屆くのが遲かつたさかで、一晩夜歸るなり狼狽して〇〇したのですが〇日は間に合はなければ困ると、それはかりを心配しながら、それでも元氣に〇〇しました』お隣は扁額の在であります』と

▽兄弟皆軍籍に在り 長野貞治郎君

小西君宅から櫻井町二丁目の通りの方へ向つて近く、露路を突きあたつた處に長野君の兄さん吉原長四郎氏宅に敬意を表す、長野君は原氏の家內の實弟である、即ち姉さんは語る『弟が急電で〇〇したのは六日の朝です、けふあたりは親の家で休んでゐるでせう、國は〇日が〇〇なのですから……國は福岡縣京都郡千手村で、親は無事であります、それに兄弟五人の中で兄は日露戰爭に出て金鵄勳章を頂いて居ます次が今度ので、その次のは敎が惡かつた爲め〇〇、その次の弟は大方現役に出てるでせう、みんな〇〇されるかもしれず目下度いここだと申したこさです、長四郎は總督府醫學校に勤めて居まして今年廿八歲です』

▽元氣で〇〇 永松虎之助君

吉野町一の百二十七番地もこの中の新地に永松君を訪ねる、まだ獨身の永松君は、そこの安川こいふ家の下宿の客であつた。安川さんの家の人は語る『昨年の十月から私の方に居て內國通運に出てゐたのです、三日の午後、伯父さんから至急電報が來て、四日の夜行で〇〇されました。兩親はなし妻子はなしで、それはそれは元氣なものでした。お國は大分縣國東郡高見町だとかで、廿六歲の元氣な〇〇さんでした』

▽家を疊んで國へ 中野正藏君

中野君の妻子を訪ねて、中の新地跡を下つた處の長崎屋洗濯店で逢ふ。三歲に、五歲位の二人の子供をあやしながら、健氣にも語る『三日の晩の急電で、四日何にも始末する間もなく〇〇しました。朝日組の運送店へ出て居りました一人の働き手に行かれたのですから家を仕舞ひ緣戚のものがこちらの二階に居りますから厄介になつて居たのです、國には父母も居りますから私どもは明日の朝の汽車で歸る心算です。は、主人は廿八歲の〇〇です』と

◎米價騰貴と仁川の定期市場 覗いて見た日毎の出來高

米價騰貴物價騰貴〇〇〇問〇〇令〇〇〇新聞記事に丸々が多くなると世は何となく色めき渡るさらぬだに一攫千金を夢見る定期市場は人氣自ら集注し茲に

◆白熱的狂瀾 の趣きを呈し市場の緊張した空氣は何處迄狂奔するか知れないと見る强氣筋こう此處らが天井近々下向くに極つたりこする弱氣筋と鎬を爭ふ日毎の出來高が如何に達するかと覗いて見ると六日の出來高値に三十萬一千二百石七日が二十五萬九千二百それが一日に什んなに動くか試みに六日の高低を見ると中限前場の最高が二十八圓丁度で最低七圓七十錢午後の最高七十錢で最低は五十錢先物に至ると前場の最高二十六圓四十五錢で最低二十一錢更に後場になると最高二十一錢で最低は二十五圓九十五錢然らば七日は什うか

◆中限の前場 で最高二十八圓八十錢が最低六十錢となり後場での最高二十六圓四十五錢安値が二十九圓九十九錢先物になると前場の高値二十六圓二十八錢で安値は二十五圓九十五錢後場の高値は二十七圓七十五錢を呼んで安値は六十五錢と云ふ一高一低寄せては返す一つの表で一聲二十や三十丁は奔騰し又低落する市場の光景は恰も垂穗の金風に靡き黃金波打つ有樣にさも似たりこも似たり然も昨今の定期市場は東京大阪を初め兵庫下關こ內地大市場の立會停止或は休止にて日々の景氣が無く朝鮮市場は茲に自らの見解を下して定期相場を作るのであるから

◆硬軟二樣の 見る處は直ちに一種の權威となつて其日々々の相場を生むのであるが然らば硬派は何と見るか之を正米の相場に比較して今の定期の下値にある事は高騰の材料となり幾分出兵氣分の加味して居るのも其の强い原因であるに違ひないが軟派の見る處を以てすれば昨今の中分なき上騰の天候と正米高が端境期の一現象と見て何れドンと落つるのは有りと見て取つた慈元暫らく硬軟兩派大立廻りの體で市場の騰ふ事甚だしい何にしても京仁地方の正米が釜山附近に見る如くまだ四十圓近い高相場を出さぬのは仁川に定期市場を有して正米の昂騰を牽制して居るに依るのは爭はれぬ事實であるから什合せなものである(仁川)

花嫁 花婿

七日京城神社にて華燭の典を擧げた水原慈惠醫院醫官千葉元枚氏(三七)と武藤幸玉職小倉官 孃あや子(二二)

◎生牛五十頭船中に窒息 釜山港にて

七日正午牛檢疫所より活牛組合の生牛二百二十九頭を朝鮮興業の播陽丸に積載し山口縣福浦へ向け出港したるが港口五六浬も距る二浬の沖合迄出でたるも風波激しき爲め積載の牛五十頭は是れが爲め窒息し損害約五萬圓に上りたり(釜山特電)

◎滋賀縣豪雨

滋賀縣下にては豪雨の爲め橋梁流失せるもの多く琵琶湖は風波高く出帆せし汽船は孰れも途中より歸港せり(大津電報)

◎猫も杓子も 値上げの大流行

◇新義州の藝妓と酌婦◇ 新義州の藝妓玉代は從來一時間一圓なりしが近來の物價騰貴に伴ひ花代値上の相談を爲し一時間一本を五十分一本として代金は從々の一圓を一圓五十錢に又酌婦も同樣一と晩三圓なりしを四圓と爲し一時間一圓を一圓五十錢に値上の相談を爲し組合に於ては之が許可申請をせんと計畫中なりと

◎富山市にも一揆

米價騰貴によりて起りし富山縣下の女一揆は富山市にも現はれたり(大阪特電)

◎連絡船缺航

八日夜入港すべき聯絡船は風波の爲め下關を發せざる爲め缺航し八日朝入港すべき梅ケ香丸は未だ入港せざるも右は途中より引還したるや否や目下調査中なりこの入電ありたり(八日午後五時二十分釜山發電)

◎豹に咬まる

慶北榮州郡禮安面山龍洞郷石伊長男崔[illegible](二つ)は七月二十八日午後七時頃內庭にて豹に攫はれたる所を家人が發見して取戾したるが頭に咬傷を負へり▲同郡文殊面助梯里朴徹演方にても同月二十三日午後九時頃長女太任(六つ)が內庭にて豹に咬傷されたり

◎取消

前略昔紙第三千九百八號雜報中本院に關する記事は事實相違の點有之候につき全文掲載御取消成下され度此段及候也 黃金町赤十字病院 京城日報社御中

▲塚原卜傳 黃金館は九日より有名な塚原卜傳が最も呼物となるべく尙劇は新派『明ゆく路』全三卷(仙田村田郎五郎一座が演じ居れりその他)第二百萬弗の秘密等にて喜劇ダゴンと下卷、活劇生物論者なり▲〇〇令 有樂館は九日より新派スクリン▲ケザン三十六號 活動劇小說劇『〇〇令』全三卷 劇愛の導き 愛國劇〇〇令全三卷▲黑潮 大正館は九日より米國製の冒險連續物秘密の王國三十二卷の內六卷の外に新派悲劇黑潮全四卷等上映すべく大正館の最も當り役の小幡小平次として一般に賞讚を得べき怪猫劇なり▲市藏日延 浪花館にて開演中の市川市藏一座は好評の爲め十一日まで日延べ十一日三日間とすべし

演藝案內

有樂館 電話(局上)五一(三〇)番 東京小林商會前京一手代理店 ◎米國ユニアサルー會社特約 活動寫眞常設館 電話(局上)… 當る八月九日より公開 ▲活劇連續スクリンマガジン三十六號 ◎米國ユニヴァサル會社出品 名女優ドロシーフイリップ嬢出演 ◎人情劇 野兒の導き 全五卷 ▲米國ユニヴァーサル會社エルコ新映畫 ◎愛國劇 〇〇令 全三卷 おなじみの辨士連出演 ◎天下一品 喜劇 旅芝居 全二卷 ◎米國ユニヴァーサル會社特作品 ◎軍事探偵冒險大活劇 終編タイヤの一

浪花館 明治町二丁目 長電二六〇番 毎夜午後七時より開演 ▲京阪落語温樂會一行 …▲落語 ▲落語 ▲落語 ▲人情落語 關洲

大正館 櫻井町 電話八七三番 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 ▲更に浪花節大家桃中軒如風出演仕候 ◎入場料は特に從前通り大勉强 當る九日より特別大寫眞 ◎新派大悲劇 黑潮 全四卷 ▲撮影費二百五十萬圓 ▲米國ヴァイタグラフ社特別作品 ◎大冒險活劇 秘密の王國 三十二卷の內六卷 ◎活劇 小幡小平次 全三卷

黃金館 電話二六三七 二三六六 …大然色活動寫眞會社京城一手代理店 ◎天下無双 塚原卜傳 …◎新派悲劇 明ゆく路 全四卷 ◎大活劇 連續二十三篇四 百萬弗の秘密 六卷の大活劇

壽座 京城本町三丁目 電話五七八番 八月九日替り狂言 …

職業 老幼男女共就業容易 …東京市本所 郵便本局前 形梅商店

自神洋行 京城 ペイント、油類一切 コークス、セメント 耐火煉瓦、モルタル スコツプ、シヤブル 帶革、ロープ 機械、工具 附屬品其他 鐵鋼材 浪板、平板 針金、洋釘 新田帶革總代理店

強胃消化錠 八木田博士命名方 島田博士御鑑定 アナタの胃病にはマーゲン 大阪市東區上本町五丁目 田畑保榮房

テンカン ヒキツケ 無代で敎ゆ 名古屋市中區南小川町 救生館

左官建築材料 セメント石灰 硅藻土火山灰 左官材料一式 各種色土砂 布海苔苆 各種塗料品 左官用、東京鏝 煉瓦用、東京鏝 建築材料種々 各種耐火煉瓦 煉瓦土管瓦 各種苆類製造 九州火山灰合資會社特約販賣 京城電氣株式會社製 瓦斯コークス コールタール 特約販賣 平壤小野田セメント株式會社製 石灰特約販賣 京城旭町一丁目 卸商 戶澤商店 電話九八四番

時計 貴金屬 製作 販賣 仁川 本町 岐阜屋商店

鑛物 分析 鑑定 日本山部鑛試驗所

◎ハーデー翁は [illegible]

[illegible]キャピタン、ハーデー翁は自分の事が米國海軍の記錄に寸毫も載つてゐないこ聞いて憤慨の餘り發狂

[illegible]米國海軍に服務せし某米人の口から流布せられた翁がペルリ一行の生存者たりし事實を否認して居る其

[illegible]第二に翁は旗艦サスケハナの水兵でペルリが久里濱に上陸した時其のボートに乘組むだこ云ふが旗艦

▲十六歲の白面[illegible]あつたのだから假りに旗艦に居つたこしてもヤツこ陸上生活を離[illegible]の際、日本婦人がイラツシャイこ云つて自分を歡迎したなご揶揄熱の熾烈な時代に新米の水兵に對し

▲狂言を描いた ものこ見るの外はない、本式に云へば京の米國大使館には海軍武官もあればハーデーの渡來に先立事實を確めるのが普通の手續たるに之を[illegible]

[illegible]で中與は二十六圓六錢にて二百石に[illegible]の解合ひあり二隅に至り先に二千二百石こ更に千石の解商內ありしのみなり

諺文を造った人（上）

總督府 渡邊彰氏談

朝鮮に於て對話以外に意思交通の利器こして最も廣く使用せらるゝものは諺文なり、而して諺文の製作に就て達觀的見識を有せられしは世宗大王なりこ雖も其の製字に就て工夫を凝らし一種特異の文字を今日に遺す建功者は時の名臣成三問、崔恒、申叔舟、鄭麟趾の四氏なりこす、是れ何人も知る所なりこ雖も予が知る所の範圍に於ては今日まで

◇四氏の遺芳を欽仰◇

して報恩謝德の所作を爲す者あるを聞かず、予は元來諺文を解せず又諺文製作者の德を頌する心にありがたしこ感ずる者にあらざれごも其の官府に在りて諺文を使用するこ將た又民間に在りて之を利するこを問はず、苟も諺文を使用して意思疏通の目的を達する人は常に製字貢獻者の恩波に浴するものこ云はねばならぬ、然るに

◇製字貢獻者殁して◇

より四百有餘年を經過する間に製字功勞者の氏名すら記憶せざる者あるに至れり曰むや製字功勞者の顯彰の如きに於てをやこ云ふ有樣である、凡そ學術工藝に論なく先人未發の點に著想して新なる發明を爲し社會公衆に裨益を附與せる建功者を追慕景仰するは啻に先人に對して報恩謝德の敬意を表すこ謂ふ意味ばかりでなく、後進者の奮勵努力を奬むる

◇一種の策勵方法で◇

ある故に予は如上の意味に於て諺文製作に從事して偉大の功德を遺したる人々の出所並に墳墓の地等を分り得る丈詮索して世に耳新しき印象を與ふることゝせり、回顧すれば今を距る四百七十三年前即ち世宗二十八年丙寅の歲（日本の文安三年）に在りて『訓民正音』こ題する朝鮮特有の文字を製作して之を國內に頒布し國民をして

◇意思疏通の符號こ◇

なすべきことを號令せられ、爾來國民一般之によりて利益を享有せし者數億萬人なるや殆ごはかり知るべからず、今文獻備考卷の二百四十五に載する所を抄出して製字の目的及び製字奉命者が苦慮せし一端を窺ひ知るの栞こすべし、曰く『上（世宗王）以爲らく諸國各文字を製し以て其の國の方言を記す獨り我國に之れなしこ、遂に子母二十八字を製し名づけて諺文こ云ふ、局を禁中に開き、鄭麟趾、申叔舟、成三問、崔恒等に命じて選定せしめらる、蓋し古篆梵字（梵字の二字は世宗實錄にありて文獻考に缺略しあるも茲には實錄によりて補足せり）に倣ひ分て初中終聲こ爲し、凡そ文字（漢字を云ふ）の能く通ぜざる所のもの

◇悉く通じて礙◇

なし中略（明朝を指す）翰林學士黃瓚時に遼東に謫せらる（明朝著名の語學者なり）三問等に命じて往きて瓚に見はしめ音韻を質問し凡そ遼東に往來すること十三度にして乃ち成る』こあり、是に由りて之を觀れば

◇諺文製作の目的は◇

漢字を以て國民生活上の必要を充たすに足らざるを察知し意思疏通の上に遺憾なからしむるが爲なることご明かなるのみならず、凡そ一國こして他に異なりたる文字を有せざることは又其の國の榮譽にあらずこの信念より製字の壯擧ありたるを推知するに足れり、諺文二十八字は以上の如き經歷の下に製作せられ汎く國民に使用を勸むるこ同時に

◇政府に於ても又た◇

之を使用して範を國民に示したり其の最も顯著なるもの三綱行實を諺文に翻譯して國內に頒ちたること是なり、茲に便宜の爲朝鮮に於て三綱行實を國內に頒ち忠孝烈の三事を獎勵したる顚末を錄し且つ之が諺文に翻譯すべき制度の定まりたる次第を一言せむこす、三綱行實は國民に善行獎勵の目的を以て世宗十六年甲寅（日本の永享六年）の歳に在りて普く國內に頒ちたれごも漢字漢文を解せざる者には之を會得すること能はず然るに世宗王二十八年丙寅（日本の文安三年）の歳に至り訓民正音即ち諺文を頒ち之を國民に知らしめ之を應用することを

◇獎勵する方法こし◇

て國民に必讀を勸めたる三綱行實を諺文に譯して之を示すこゝゝせり、然れごも一時的施設にては永久の規準こならざるを以て遂に此の事を成典に揭ぐることゝなり其の結果こして一國の大典たる經國大典中禮典獎勵の部に左の規定を存するに至れり曰く『三綱行實は飜譯するに諺文を以てし京外の士族、家長、父老、或は其の敎授訓導等をして敎誨せしめ

◇婦女子に之を諒解◇

せしむ、若し能く大義に通じ操行卓異なる者あれば京は漢城府、外は觀察使より啓聞して賞を行ふ』こあり、是れ實に諺文を定め國內に頒布してより、二十四年後に定まりたる制度なりこす、諺文製字の當時は廿八字なりしが現今は云

◇二十五字を使用し◇

居るこ云ふ、今諺文製字確定して國內に頒ちたる世宗王二十八年丙寅の歳に於ける製字奉命者四人の年齡を考査するに成三問は不明なれごも崔恒は三十八歲、申叔舟は三十歲、鄭麟趾は五十一歲にして孰れも思慮分別の全盛期に在る大家を網羅したり、是れ製字の功に收めて其の芳績を今日に貽す所謂人智府中の中樞人物なりこす

◎ヒラ漁の研究

◇鮮人漁業に最も適す◇

◇鯆漁と鮮人 鯆は從來支那人の西沿海に密漁し盛んに漁獲し居りし形跡ありて全南黑山島及び牛耳島附近漁場のみにて其密漁高征年二十萬圓以上に達すこ云ふ現今は密漁取締勵行の爲め殆んご其の跡を絕てるが如き狀態なるも未だ內鮮人の何れも此の漁業の經營を爲すに至らず僅に鮮人が粗雜なる漁具を用ゐる姑息の法に依りて全南沿海一部に此漁業を爲せるを見るのみ而して本漁業は其の漁法簡易にして設備の經費も亦多きを要せざるを以て鮮人の經營には最も適當せるを認む

◇探檢的調査 本漁の回游時期去來の方向漁場の位置等に至りては未だ詳らかにせざるものあるを以て一昨年度より全羅南北沿岸に於て本漁業に關する探檢調査を施し多少得る所ありこ雖も未だ其の獎勵に資し漁具漁法を定むる程度に達せず故に前年度に繼續し本年度に於ては尙漁期漁象及び去來の狀況等に就き精査し指導獎勵に資せむこす

◇鯆の分布 鯆は朝鮮海南岸慶尙南道巨濟島沿海より西平安北道薪島沿岸に回游するも其最も多く游するは全南牛耳島附近鞍馬沖合にして產卵期に至れば地方沿海に近きより木浦港口押海灣及び智島附近及び我平灣全州灣沿岸等に回游す

◇試驗の經過 本試驗は全羅南道牛耳島沖合廿浬より七發島鞍馬七山灘に至るの漁場にして全羅北道蝟島沖合及び全州灣にして本年度試驗期間に於ける海象は六月中旬迄著るしく低く水溫も六月下旬以降に至りてより俄に恢復し平年こ多く差異あることなく其他潮流比重等を六月中旬迄は例年に比し二度內外下降せるも六月下旬に至りて例年こ異なる所なし而して魚群の回游狀態は初期より相當の漁獲ありて六月下旬には魚群沿海に來集し夜間鯖鰊網及び延繩等に漁獲數日に亘り斯く一時に魚群を認めたるは本年度六月下旬以降海象順調に復し且つ沿海一帶

◇浮虫と稱する蠕蟲の發生し潮流に乘じて蠕蟲の浮游する多きを以て之れを食料せんが爲め一時に沿岸に追游せるならんか蓋し時化の蠕蟲を食せざるはなし又小潮時潮汐の淸麗

◇淸冽なる時 は鯆及び鮫[illegible]に多獲ありて網具に利あらざるも高潮時及び夜間にありては之れに反し網具に多獲ありて釣繩に僅少なり六月中旬以來豪雨數日に渉り沿岸海況に異情を來し比重

◇水溫の變化 こ共に鯆は漸時沖合深所に逃避し去りて七月上旬に至りて更に漁獲を減少し試驗繼續中七月十日暴風雨に遭遇し漁具漁網に破損を來し之れが修理中鯆は沖合に逃避し殆んご其形跡なく遂に七月十五日終漁したり

◇此の期間 三十八日の內出漁操從日數三十日にして鯆六千尾の漁獲をなし本年度は當事漁の象衆多の回游一時順調なりしが爲め相當の成績を得加之ならず

◇魚價暴騰 の爲め漁獲尾數の割合に水揚高を增進せり今漁獲量に對する木浦魚市場魚價相場を摘算せば一尾平均十三錢かへ（生魚三百匁回り）七百八十圓餘こなり一日出漁平均漁獲數二百尾水揚金二十六圓に當れり以上述ぶるが如くなれば全南多島海の漁業は愈々進んで益々有望なる各種漁獲物の豐富なるを思ふべしこ

夏と子供

食過ぎこ牛乳

目下小兒の間に著るしく流行して居るのは多く胃腸から來る病氣で就中生後一年內位の哺乳兒の病氣は大抵胃腸病である一口に胃腸病こ云へば世人は別段に怖ろしいものこは思つてゐないようであるが哺乳兒の死亡する三分の一は胃腸病であるこ聞いては驚くべきであらう此原因の第一は先づ營養法の如何こいふ問題で

◇哺乳兒が天然營◇

◇養に依つて育てら◇

れたか人工營養に依るか即ち母の乳で育つてるか牛乳の類を用ゐて育てるかが大いに關係があるので一般に母の乳で育てられたのは胃腸病でも其の他の病氣にも抵抗力が強い、母體が身心過勞であるこかいふ時には分泌物が惡くなる又牛乳は小兒の哺育には頗る有効であるかの如く今日でも誤解して居る人もあるが

◇母の乳に比すれば◇

◇遙に劣るので自然◇

の母乳に優るものは無いこごを忘れてはならぬ第二の原因は衞生狀態で其の家庭が衞生を重んずるか何うかこ云ふ點で住宅の如きも大いに關係がある殊に都合は住宅に原因する疾病も尠くない而して第三は此胃腸から來る小兒病は非常に氣候に關係するので今日のように暑さが加はるこ比例して病兒が殖ゐる其は暑氣の爲めに消化不良になる結果で之を食餌性中毒こ稱するが

◇最初は極く輕微の◇

◇症狀から段々重く◇

なつて虎列剌に似た症狀を呈して吐く急性胃腸加答兒は全身の病氣こなつて此爲めに死亡する哺乳兒が多い其徵候は始め輕い吐瀉か下痢を催し神經狀態も變つて元氣の子供がぽんやりしたり亢奮したりするのは夫で熱も著るしく高下する此の場合は早速醫者に見て貰はないこ重くなるから注意を要するが

◇此胃腸病は大部分◇

◇が牛乳其他の人工◇

營養の場合に多いので母乳には稀に見る現象である是は苦い經驗を持たぬご分らぬが右の樣な時は早速醫師の診察を受けるのが安全である次に天然營養の母乳なら安全かご云へば必ずしもさうは云へないので母乳が其小兒の身體に合はない時は此の病氣に罹る事もある更に生後二年から六年を過ぎた小兒に多いのは疫痢である之は六七八九月頃に最も多い原因は

◇主に桃だの葡萄だ◇

◇のバナナこ云ふ樣◇

な果物を食過ぎたり饅頭煎餅などの冷なごは誘因こなるものである一體暑中は平常より胃腸が弱つてゐるので不斷では差支ないものも消化し惡いのが例こされる此症狀は急に熱が出たり痙攣を起したり手足を震はせたりするのが夫であつて中毒症が強いこれも今の暑い時分が最も危險の時である子供を可愛がり過ぎて食物を與へすぎるのはお互に大に愼まなければならぬ

◎忠南の胡桃

忠南道技師 石塚峻氏談

◇聲價 由來忠淸南道天安郡廣德面產胡桃は他地方產に比し皮薄く肉厚き特徵を具備し品質頗る優勢なり故を以て朝鮮到る處廣德胡桃の名聲を博せる所以なり、近時內外人間にも賞美せられ其の需要益々大ならむこす

◇沿革 何等文獻の徵すべきものなきも口碑の傳ふるところに依れば今を距ること約二百年前アメイシこ謂ふ鮮人支那より種子を持來りて播種したるに始まり漸次其の附近に普及したるものなり現在其の樹數二千五百本に達し老齡の樹には二百年に達するものあり

◇用途 胡桃は主こして冠婚葬祭其の他宴席客來訪の際等に於ける料理調味用こし又生食用、及び藥餌は大にして朝鮮人間には必須缺ぐべからざる果物なり

◇取引 生產者自ら市場に搬出し之を販賣するは甚だ稀なり多くは他より商人入り込み月利五分內外にて收穫前に前貸をなし以て買の契約をなし收穫期に至りて之を搬出するなり從前は豫め價格を定むるを例こせしが昨年は現品搬受當時の時價に依り價格の決定をなせり買受商人は主こして京城方面より來り附近の各郡より集まるもの其の一、二割を出でず

◇產額 一箇年平均收穫量四百八十石價額五千圓にして一斗の價格八十錢乃至一圓二十錢こす本年は頗る凶作の爲其の產額僅に二十石內外に過ぎず從つて價格騰貴し一斗約三圓なり

◇豊凶 年により豐凶の差甚だ[illegible]酷烈の年にありては結果枝の枯死する處あり昨年は冬寒[illegible]

◇將來 由來胡桃の植栽は宅地の周圍田畓等の畦畔に植栽されたるもの多く山野に植付たるもの極めて稀なり廣德面は天安郡に於ける有名なる火田地なるに依り山の中腹に栽植するものあり前者に比し稍成育劣れるも手入充分なることは生育良好なるを得べく仍つて郡に於ても相當計畫を樹て栽培獎勵中なり將來生產額は益々增加すべき見込なり

◎活せらるべき豆滿江の輕鐵

◇豐富なる木材の搬出◇

豆滿江下流土里より海岸西水羅の輕便鐵道は兩三年前營林廠にて豆滿江材搬出のため敷設されたるも其後營林廠の方針變更し全部[illegible]撤去するに決したるより[illegible]會等に揭陸する事こなりたる結果同輕鐵も不用に歸したるより撤去するに[illegible]しが[illegible]出に最も便利なるより[illegible]木材商間には之れが敷設を希望[illegible]つゝありしが今回內地[illegible]家によりて同輕鐵敷設[illegible]の設計許可の指令に接したるを以て八月中には起工し約一箇月の後完成する豫定なるが[illegible]鐵敷設の曉は結氷期間こ雖も自由に搬出し得べく且つ內地仕向の材木は淸津を經由する事なく直に西水羅より船積になし得るを以て木材搬出上非常の便利を得べきが同鐵道は一般材木商のためにも同鐵道を利用せしむべしこ（淸津）

◎領事特別任用

大正六年八月滿洲駐在領事特別任用令を發布せられしが今回同令に依り滿鐵奉天地方事務所長安東地方事務所長任小倉鐸二氏は鐵領領事に任命せられたるを以て兩氏共滿鐵を辭し此の程就任せり（大連）

◎東拓こ遼銀

東拓大連支店長安東義喬氏は遼東銀行に對する同社の投資關係より同銀行重役に推薦せられたるが更に相談役こして實地事務に參與する者一名を東拓より推薦の筈なり（大連）

長野少將と營農

今回待命仰付られたる前步兵第四旅團長長野澤少將は三日嘉義丸にて大連に引揚げたるが氏は更に家族を伴ひ滿鐵沿線及安奉線沿線に於て廣大なる農場の經營を爲す計畫なりこ（大連）

貯米調

忠淸南道在米

忠淸南道管內七月二十五日現在の在米は米八千五百四十一石粳二萬三千三百十四石なりこ（公州）

◎內地の景氣

衣裝類買入の猛澤振り

米價が天井知らずに上り諸物價は益々騰貴する一方困つて居る人は益々困り懐に餘裕ある人は益々懷が豐になる、貧富の懸隔は益々甚だしくなる米價の騰貴に伴れて地方の地主や此頃は成金も澁い物を

◇百姓の景氣 は大したもので、從前の借金は皆濟する預金は出來る、家は建る、衣類持々其むくむく殖ゐる、鄕々都會へ買求めに來る、種々な贅澤な衣服を拵へたり裝飾品を買つたり、其上近親緣者への土產物を澤山に持ち歸るこ云ふ有樣で地方民の懷は益々しくて今や地方の景氣の好い事は大したもので三越、白木屋等東京市内の大呉服店の賣行を聞くに昨年に比べて遙に賣行が好く

◇地方の客が 今年は約七八割の激增で需要品は高價なハイカラな衣類や貴金屬寶玉類即ち金時計、ダイヤモンド入り指環、翡翠の根掛け、翡翠こいつた樣なものが賴りに購はれるこいふ東京では成金者流を一種侮蔑する傾向が有るところから所謂成金の好みは淡い地味なもの其れがまた頗る高價なものが賣行く例へば多物なら

◇越後上布や 麻や絽縮緬の類がごしごし掛けて行く而も織なのに爲るこ表面は絹地を用ひた絲繻こ見せかけて裏を引繰り返せば上等羽織に誂られるやうなの、それから當夏の新傾向こして職人が薄絹の半被を作らへるこか或は又百六七十圓もする越後上布四五十圓の麻地等素晴らしく賣れることふことであるこ、某呉服商店員の談に依るこ

◇一般の好み こしては地味で堅實なものが歡迎せらる、一方、高價な反物や裝飾的贅澤品の賣行きが寧ろ東京に宜しい而して最近注目すべき現象こして銘仙の如き從來五六圓乃至七八圓で買へたものだが今は十圓以上十七八圓もするに從つて以前一般中流階級の人々か比較的安く體裁よく丈夫で需要の多かつたものが此ごろ頓こ賣行きが芳しからず等ゝ

◇木綿類か 呼物に爲つて居る景氣の宜い向きは銘仙よりも寧ろ上物を求むる兎に角景氣不景氣の向き向きが騙はるゝ品物より推察し得られる（東京）

◎大連〇〇〇

第〇〇及び第〇〇〇〇〇三日午後蒙沙河口滿鐵工場のみにても三十餘名の〇〇〇〇〇〇三日夜及び四日朝出發せるが大連よりの〇〇約百名に上れりこ（大連）

◎松葉のみを食して修行

記憶好くなつて頭が瞭つきりする

一昨年頃まで間島總領事館に在勤して居たる朝鮮人警視崔基（互）氏こ云ふは生れは鏡城の兩班にて併合前韓國時代には宮內書記官を勤めて又一進會員こして成北道の牛耳を執り羽振を利かせし事もありしが併合こ共に警視こして間島に派遣せられ居りし處同氏は壯年より深く佛敎を信仰し居たるが一昨年決然こして修業を思ひ立ち警視の職を敝履の如く棄て去りて妻子こ別れて江原道金剛山新溪寺に入り一年有餘修業の結果

◇松葉のみを食して◇

生活し得るようになつて本春一先づ間島に歸つたが更に修業を積むべく七月下旬間島を出發し二十九日淸津より南航の便船にて金剛山に赴きたるが同氏が修業の經過に就て語る所に依れば同氏は

◇古い朝鮮の書物に◇

松葉のみを食して生存して居つた者があつたこ言ふので思ひ立つたので一昨年警視の職を去るこ共に剛山に赴き修業したのであるが初めは松葉許りでなく生大豆をも加へた之れは松葉許りではごうも空くように思はれたのであるが

◇大豆を加へて食す◇

るこ非常に喰ひよいのみでなく何こなく腹が充分のようになつた、そこで之の松葉を食ひ出してからは身體には少しの異狀を來さゝるのみか却つて精神は判然こして記憶力の如きも大に增進して若い時分に讀んだ書物の事柄なごで

◇一應忘却したもの◇

も爾に考へるご思ひ出すようになる又た目も幾分惡かつたが之れも少しも感ぜぬようになり

◇酷寒にも單衣一枚◇

でも何等苦痛を感ぜぬようになつた一體之の修業には松葉の良好なのこ空氣の淸澄に且つ水の良質のがある所が最も好適であるが金剛山は空氣もよく水もよいが松葉の良好なのがないのが缺點である

◇此の修業には日本◇

內地が總ての點に於て適するように考へる故に將來は日本內地に渡つて何處にか樓居する考へであるこ同氏は笑ふ痩せては居るが血色もさして惡からず一見常人こ異ならずこれで三百年迄長生して見せるこ元氣も仲々旺盛である（將祖）

新舊對照 朝鮮全道府郡面里洞名稱一覽

司法大臣 松室致 閣下題字
京城地方法院所屬 辯護士 法學士 加古貞太郎先生序文
舊韓國財政顧問附 財務官 小笠原寬先生序文
法政大學校友 關西大學校友 越智唯七編纂

大正七年一月一日現在正誤表附總クロース金文字入菊版千百五十頁定價金三圓郵稅十八錢 本書は府郡廢合の整理と既に結了したる土地調査局の調査により確定したる朝鮮全道の行政區域の新舊を對照し錯綜混雜せる沿革を明にしたるもの

一目瞭然にして道、府、郡、島廳及面事務所の所在地を示し、末尾に朝鮮の沿革、日、鮮、淸、西歷の詳細なる對照年號を示し管區數人口戶數、道路里數、各道の廣袤交通、產物名稱舊跡溫泉其他の槪況を揭げ

本書は官廳執務上を初め政治家實業家學者交通產業其他苟も朝鮮に關係を有し朝鮮に精通せむとする士の須臾も缺く可らさる必携書也

朝鮮大地圖

朝鮮總督府編纂

▲八十萬分ノ一縮圖 ▲折圖定價一圓 ▲折圖送料十二錢
▲縱四尺五寸横三尺五寸 ▲軸裝定價三圓五十錢 ▲軸裝送料要實費

本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色こする處は道路にあり、即ち鐵道郵便、一、二、三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官廳所在地の正確なるは其誇こす。

酸素療器オキシパサー

本器は科學界の泰斗マイケルファラデー氏の發見唱導に係りダイヤマグネチズムの原理に基く大氣中の酸素を身體に多量に吸收せしむれば使用者は直に脈搏整調質强となり全體の溫暖呼吸の延長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛食欲の亢進、兩便の快痛等生理的本能を回復し急性慢性病の別なく總ての痛氣は全く根治される理學應用治療器なり

使用法 （本器は藥品を絕對に要せず又裝置頗る簡單にて少しの危險なく器械附屬使用書を熟讀せば何人も容易に使用せらるべし）

効力 （本器の効驗は迅速確實にて殊に其の効力永久にて消耗する事なし）

感覺 （本器は身體に接觸なし何等刺戟微痛もなし）

一家の經濟 （本器は使用に當り費用を要せざれば家庭に備付けば永久に醫藥費を省き頗る經濟なり）

幸福 （本器は病氣を輕き中に治し一家族及隣家の人々に迄壯健にて幸福に生活なし得らるべし）

御注意オキシパサーは輸入創始明治四十四年なり類似品あり切にパサーの名に御注意を乞ふ

治病實驗例說明書附呈

正價參拾九圓也

パイン萬年筆

萬年筆使用の快味を知らむこせば先づパイン萬年筆あることを御記憶遊ばさるべし

商品を吹聽するにこの邊まで誇張を要せずパイン萬年筆に就ては一語の誇張を要せず萬年筆こして備ふべき一切の效能こ特徵こを遺憾なく發揮して品物夫自身が自ら其眞價を語るべし

最新式 六圓八十錢
銀浮模樣付 四圓九十錢
實用 三圓八十錢
學生號 二圓八十錢
ビジネス事務用ペン 一圓九十五錢

京城太平通一丁目
發賣元 京城日報代理部
振替京城三〇〇番

商況

東京期米特電 米着

兵庫期米特電 休會

大阪期米特電 停止

大阪三品特電

八日後場 八月限 九月限 十月限 十一月限 十二月限 一月限 三八五、九〇

下關期米特電 停止

雜報

●綿糸布反撥 一此 前日來小康の裡に新動機を待ちつゝありし三品市場は昨八日前場に至り米棉四圓高ぶ好材料を得て人氣一變し先限三百八十五圓と約十圓方奔騰せり後場は三百八十五圓九十錢と更に小一圓高の入報にて綿布も又再び上向き歩調となり三銘先物十三圓十錢も漸次買ひ再燃の模様にて粗布三三一は一圓高の三百三十八圓を唱へらる

●正米大混亂 米正 は内地高の影響をうけて八日の釜山市場は別項の如く一躍四五圓方の大急騰を告げ沿線地方も又釜山筋よりの買注文に煽られ大邱及平澤等も同じく四五圓方の大爆發し內各地を通じ正鮮未曾有の白熱的狂態を演ずるに至り當市場の如きも之れに連れて人氣の動搖甚しく持米主は今後形勢の推移を觀望せんと賣惜みに努めつゝある結果今朝の如き賣物全く絶無となり正午前後迄は一人の賣客さへ來らず朝來の市況は殆ど空騷ぎの大混亂を呈せり一部には玄米地と打均に大張四五圓方の突飛は免かれざるべし

●白米又混沌 白米 は市中卸値特等三十九圓一等三十八圓二等三十七圓七十錢と前日に比し更に一圓方昂騰せしが原料は各地の大暴騰に賣物全く杜絶して今後は如何なる窮狀に陷るやも測り難き形勢となり折柄需要者側に於ては先高を擔へ各自餘分に買入れ置かんとする傾きを生じ昨今素人筋の俵買注文頻繁なるに至り需要先にも應ぜざるに至れ且つ持米の潤澤ならざる精米所は熱狂火に警戒し初め一側に對する注文制限は無論一二俵の小新規客の注文は戸口と雖も拒絶するの方針を取り又六七の小賣屋に於ても一人に二斗以上の賣應させざる店もある趣にて極力賣控へに努めつゝあり原料市況混亂無見當にて商內も無きが要するに此突飛の値出如何にあるのみ

なれば古米相場も何れ一躍四十圓を突破すべし斯かる事情にて精米組合に於ては本日臨時組合員集會を開き應急問題の協議を爲す筈なりと

●鮮白大暴騰 過般 米價の鉄狀の爲めに割安以て推移し來りし鮮白も徐々持品手薄を告げし一方原料愈々枯渇して市場の形勢穩ならざれば持主は何れも賣惜みの念を強め來れる折柄に割安の後丈に反動も加はり昨年後以來一氣二百五十丁方の大暴騰を演ぜり相場は上三十六圓中三十五圓下三十四圓に上り眼先向高模様を呈せり

●大麥又引締む 大麥は昨報の通り玄米に比し割安なるより値頃觀の思惑買殺み絶えず氣配益々強く今朝は單倍物十圓五十錢思惑物九圓五十錢中安物八圓七十錢の見當にて前日來約五十錢方騰せり

●大豆買進む 大豆 は同地及釜山方面の相場昂騰せるを同時に注文盛んに入込み來れるより價段を厭はず一齊に買進み昨日は龍山物にて最高十七圓迄出來せしが今朝は更に五十錢方引締まりしが高値十八圓見當を唱へ何分荷主に於て相場の先途を見當て買付品さて相場に躊躇する所あるを以て自然賣物多からず

●支那粟混沌 支那 粟は米高と比例し先の入荷薄に漸騰して昨午後は海上物十四圓五十錢迄出來せしが間もなく賣人より賣込み申込みありしかなるが今朝は正米市場の大動搖に賣人一層の強氣となり十五圓或は十六圓と唱へ歩取らず市況は全く混沌として正米同樣無見當の有樣なり

●明太魚産地高 明太魚は産地品薄に相場騰せり最近の元山入荷相場上品六十二圓といふ高値を唱へ爲め賣行きも不良ならば品薄となし目下は成行を見る昨年は明太を以て占め居れり

●千瓢は持合 千瓢 は其後格別變動なく此處二十圓見當を持合ひ居れるが未だ在來の手持潤澤なる爲め內地値に比し割安なり眼先新物の入荷を見るに至らば多少の變動あらん

●小賣白米先高 小賣白米は例朝の如く今朝より一等米三十八錢に値上がりせしが卸賣は別項の如き事情なるを以て眼先更に意外の突飛あるや知れず

各地商況

●大邱正米(八日) 昨々刻米各地一齊大暴騰と賣物杜絶に、市況刻々險惡に陷りつゝ今朝に至つて遂に八圓賣の盤なりと聞くに至り殆ど夢中に買品を探索せるが午後にかつて愈々一俵の賣物も見當らず賣品姿隱れに氣配熱狂し切つて、釜山の大高報と共に遂に場貸今や四十圓の大關門を突破せんとす形勢而も一個の手合も整はず一日に五圓の騰進は恐らく古今未曾有といふべし市場は混亂の通り越して寂然たり

●群山正米(七日) 各地高と共に一もの薄に相場ますく沸騰し本日群山三等三十五圓十錢より三四十錢なきなへ尚ほ賣りものほさんどなき商狀にして賣買皆無目先なほ強硬なり

玄米一等 三六、三〇
玄米二等 三五、八〇
同三等 三五、三〇
同 白米 三五、一〇

▲釜山水産市場(八日) 水揚高(九百圓十八錢)▲あはび十九枚▲たい二十一圓▲さより十三圓▲ひらめ七圓▲はも六圓▲ーび八圓▲たこ十圓▲さば四圓▲あじ八圓▲雜魚六(以下略)十三圓▲ちり二圓五十錢

五 ▲京城日丸市場 本日は漁獲一層少なく氣配強し仁川たい六五さばら二〇すゝき五〇ひらす一八にべ一〇ぼら一三あわび四〇あゆ三五めじろ一

生魚市場

仁川期米

▲九日前場 (大變動下押す)

▲第一節 中限二十八圓三十錢より二錢と新値先二十六圓九十錢と四錢高に付きたるが利喰に新規に投げに賣物輻輳し忽ち五十錢と激落したるも押目は又買物多く七十二錢と跳ね返し六十錢と押し五錢と返し一錢と大掘にて引

▲第二節 中川來不中先六十七錢より賣多く更に四十五錢と暴落したるか買物漸く多く六十二錢と跳ね返し六十錢と掘戦を演じて引

▲第三節 中川來不中先六十一錢より賣物多く五十一錢と押し六十六錢と押し六十錢と激戰す

▲木浦米況(七日) 大阪正米筋は今や當地の付値次第に買付き來り大阪着入鮮白米四十圓を唱ふる勢にて加ふるに高地は益々買物然殆んど市場狂騰沸騰の有樣にて一部に氣筋が昨日夕刻賈付けたる三等玄相場は全鮮中の最高値なりと信ぜらるる位ひに二等玄三十六圓に五六百叺の賣物ありたるも僅の高値に買入く然三等玄は昨日午前に比し一躍にして百八十丁より二百丁以上の暴騰手も付けられず三十三圓五十錢乃至三十四錢と云はれ相場は區々にして殆ど捕捉すべからず市場は買人不知の勢なり目先は非常に暴騰せり

南大門廻穀

▲釀(粗服) 本日は五百俵程の廻着あり強氣筋の買進みにて一俵にして昨日よりも六七十錢高八圓十錢より二十錢まで出來せり今や市場は全く懸倒せり

南面小麥一二〇叺 觀一米三叺 議牧谷栗一七〇叺 東豆川麥元叺 東豊縫麥二四叺 元山白米元叺 鳥致院麥九〇叺 中和小麥二〇叺 中和粗麥一〇〇叺 義州小豆七〇叺 金村粗四〇叺 義州小豆二七叺 中和小麥四五叺 宿州大豆六叺 中和小麥六〇叺 金村玄米六七叺 東豐豐麥五〇叺 雜麥二叺 平澤玄米一五叺 平澤白米三叺 中和小麥六〇叺 撰胡麻三叺 鐵川叺 二三叺 義州大麥二二叺

仁川正米

▲粗の入津少なし ▲正米は釜山群山方面より更に大暴騰を生じたるより更に暴騰の人氣を唱へ居るも賣物薄の折柄なるも蓋して高値は買進む手口なく賣配は高人氣を唱へ居るも商談行はれず警戒の裡に見送り居れり

釜山物市場 八日

▲玄米暴騰 賃車不足に倂廻り稀薄と例の時局氣構へ或は大手筋の買進み等種々なる强氣材料の用合にて人氣沸騰し一日の押目も見せず鉄道十日米品騰貴の續けは連日一方の商勢にて昨日迄に既に三十六圓七八十錢まで云ふ開闢以來の大高値を表はした る當地米界には今採假然沸騰一週に至り新手大手筋の買観きありしより人來り一氣二三圓方を吹き上げたるに至れり全く熱狂沸騰せる人氣は到底に甚だしき狂亂の盤にて倍々尻高まる

▲昨夜場は前場底強き機先二十六圓か崩れ十錢を四十錢高にて寄付きたるが崩れに新規に買物多く七十二錢と一仰に一押には更に九十二錢と新高値に場騰したるが高値は利喰に新規に賣物現はれたる..

市場雜觀

▲市場揭示 前場四 臨時休會す八月九日

相發表するに至る如く追て是か眞

突然臨時休會

つては取引所に於ても何か確信する處あるもの如く追て發表

立會繼續中

なるも一の突然臨時休會に至りしもの也

▲臨時休會 今前場第三節 立會後に至り取引所は別項の如く四節以降臨時休會する旨揭示し遂に臨時休會したりとは理由は定款第十八條當所の休業日は祭日々曜日及び毎年首三日間年末五日間とす其他臨時之を定め市場に揭示すべしさある條文に依りたるものにて何等意味なきものなる

廣澤正次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長七六番

▲先限二十六圓九十錢七十錢五十九錢 五十錢六十錢五十錢七十錢五十九錢 五十錢五十錢三十錢四十錢 二錢三錢二錢六十錢五錢四錢三錢 二錢三錢二錢一錢三錢二錢一錢 ... 一錢五十錢 七錢六錢八錢七錢八錢九錢六十錢 錢五十九錢六十錢

▲第一節 以臨時休會 頭項の如く臨時休會となりたり ▲九日前場 中限◎二 八圓三十錢二錢平均 値假二十錢◎出來不中◎出來不

臨時休會

▲第四節 ... 頭項の如く臨時休會となりたり

丸仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長

と返し五十六錢と押し六十錢と大激戰を演じ漸く危險狀態となつた四節に至り取引所は別項の如く四節以降臨時休會する旨揭示したり▲今前場は依然正米の暴騰人氣も傳へたると崩れの續出せ振り合にて高氣配なりし

高に寄付き跡忽ち僅に四錢

奔落を演出 果然たらしめた

が立會に際し存外賣物多く僅に四錢高に寄付き跡忽ち奔落を演出し果然たらしめた押し安値は更に買はんとするもの現はれ跡立會毎に混亂狀態となり大激戰大損戰にて人氣頗ぶる動搖した▲正米界は既に危險狀態となり居るに拘らず更に暴騰か繼續し益危險を思はしむる時に際し如何に本年大豐作見越しの新米出盛にせよ人氣は大しても安値は望まれずさりたる反し買遭り來て

此買人氣に向ひ極 軟派筋は

力賣向 ちはんとしたるさ折柄纏ひきたる天候も

なり自然 ### 降雨さならば上 漸く全天となりしも近く降雨ともなり本年の大豐饒ひなきものの氣分の上に作況は一層上乘り順氣の上に上順氣 ...

順氣の上に上順氣

取組高に 強弱の賣入取組高に

なり益々賣り來りたる等にて

増大んせ形勢ある市場に稍不穩狀態を帶びたるやに思はれしが果然取引所は臨時休會を宣するに至つた知らぬも今後如何なる成行を辿るなるか

仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話一五八番 長一五九番 商用電話七二〇番

仁川米豆取引所 九日の十月限

場	前
寄付	二十六圓九十錢
止メ	二十六圓九十錢
高値	二十六圓九十錢
安値	二十六圓四十五錢
出來高	

段	値
一節	二十六圓八十錢
二節	二十六圓六十錢
三節	二十六圓五十錢
四節	
五節	

賣買取組高

限	取組高	前日と比較
八月限	一萬二千六百石	五〇高
九月限	五萬六百石	一五〇高
十月限		四一
七月後場		一一高

二三六、八〇　二三六、四〇　二五九、九九　二五九、五〇

志仲買店 仁川米豆取引所仲買人 電話二八番 長二八三番 電略シ又ハ「カクシ」

白米小賣値

一等白米 三十八錢
二等白米 三十七錢五厘

白米標準値

三十八圓

青物小賣値

ホウレンソ 一五〇 ナガイモ 一〇〇
シシキク 一五〇 ツクイモ 二〇〇
チサ 一五〇 トウガン 四〇〇
ナツパ 二五〇 ナンキン 三〇〇
ミツバ 一五〇 ニンジン 二五〇
カイワリ 三〇〇 ゴボウ 三五〇
トノイモ 一〇〇 ダイコン 五〇〇
ハスイモ 五〇〇 ナス 二五〇
コイモ 二〇〇 キウリ 一五〇
サヽギ 二五〇 チギ 二五〇
フジマメ 六〇 タマチギ 四五〇
インゲマメ 五 バレイ 二五〇
ユリ子 三五〇 トマト 三〇〇
ショガ 一五〇 エダマメ 三〇〇
ワケキ 二〇〇 タマナ 三〇〇
シンショガ 五〇 シロウリ 三五〇
ハナマル 一五〇 ショガ 一〇〇
アラト 六〇 アサヒ 一〇〇
ハツカミ 一五〇 フキ 三五〇

田中金兵衛商店 期米賣買之栞無代進呈 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長一五二番

▲天候崎兲今朝先限二十六圓九十錢と小高く寄付きたるが山規に利喰に投げに賣物多く忽ち五十錢と激落したるか押目は又買物現はれ七十二錢と跳ね返し六十錢と押し六十五錢と返し一錢と大掘戰を演じて一節を送つた二節六十錢より更に四十五錢に暴落したるが買物漸く多く六十二錢と跳ね返し六十錢三節六十錢より五十錢と押し六十二錢

將に熱狂しあくまで買募らんさするは聊か注意を要するものならん兎に角正米の暴騰は熱狂も既に通り越し危險狀態を帶び來りたるやの感あり加ふるに內地各大市場は停止又中止し居るの時に際し此危險狀態の氣分を受けて新穀期の十月限に向ひ買氣を助長するに至つては大に考慮を要すべきものあらざるなきか

田中金兵衛商店 期米賣買之栞無代進呈 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話長一五二番

大爆發を演出に二

熱狂的買物

▲市場は正米の更に暴騰を傳へて買氣を助長し一六圓九十一錢の新高値を示現するに至つた然るに高値を待ちて居りたるの仲介筋の賣もんとするや忽ち人氣一變七十錢と先落し今前の見込さなるや又復買募り八十六錢と強硬の成行を示したり▲相場の大變動に人氣頗ぶる動搖し立會毎に大變動大商盛を見るに至つた市場の爲め幸か將た不幸か知る能はざるも人氣は

▲昨夜場は前場底強き機先二十六圓か崩れ十錢を四十錢高にて寄付きたるが崩れに新規に買物多く七十二錢と一仰に一押には更に九十二錢と新高値に場騰したるが高値は利喰に新規に賣物現はれたるさ今の賣りに忽ち七十錢と先落せし押目は又買ひ多く八十五錢と返し七十二錢と押し八十六錢と跳れ返し股合中限は二十八錢と暴騰引け居るやり二十錢と暴騰す

塚原卜傳 第百六十一席 悟道軒圓玉口演

長一郎宣親に於ては山科興正寺の顯尊上人に逢ひまして不思議にも己れの素性を申聞かされ、一時は疑ひましたやうなものゝ、言はれて見れば紙張こいひ旁々ごう誠らしくも思はれますから猶種々問訊して見たが實父の名だけは何うしても上人が語らぬ、唯勝義を討つことだけは思ひ止まれ、止まつたらば改めて仔細を明し、然るべく身の立つやうに取計らふて遣はすとの言葉、思ひ止まらうかと思つたが父よく考へて見れば父彈正が實の親でなく養ひ親であつて見れば猶の事、義理として其仇は討たねばならぬ、一口男子が思ひ立つたる大望、坊主に止められた位で脆くも心を變じては刀の手前面目ない、師範井鉄斎殿が仕損じたる時は此刀にて自殺なせと賜はつたる二字國俊、刄に血塗らずして何の面目あつて鳥取へ戻られよう、人は何んとも云はゞいへ飽まで小太郎を仇と睨み、つて初一念を徹さねばならぬと堅く決心いたしまして顯尊上人へは一封の書面を遺し、夜に紛れて興正寺を飛出し、黑谷の隱家へ戻つて來たさて何ういふ手段を以て小太郎を討つべきかと心を碎く中に、闘らず耳に入りましたのは金閣寺の能、小太郎が正客として招かれるといふ、これこそ好き機會何こか傳手を求めたいものだと考へまして隱家を飛出して北野へ立ち入り一太刀切り付けしたのは前の日の十四日の暮方、急ぎ足に遣つて參りました一人の男、長一郎も考へ事をしながら歩いて居たから避ける間がなくドーンと打突つた、長一郎の方は武術の心得があるから打突られても倒れはしないが男の方は揉合を喰つてトーンと前へ蹌つたヒヨイと見ると武家だから件の男は起上つて漸へ手を支き「○ごうも飛んだ粗忽をいたしまして申譯がございません、少々氣が急きますのでついお武家樣が向ふから入らつしやるのも見さかひなしに突當りました、惡い氣でした事ではございませんから何卒御勘辨を……」平蜘蛛のやうになつて詫るから反つて氣の毒になりまして長「イヤ心配するに及ばぬ、兩方の粗忽である互に怪我をした譯でもなし、左

樣申されては反つて困る、サアサア宜いから早く參れ○有難う存じます長「大層急いで居るやうだが急病人でもあるか○イヱ病人ぢやアございませんが私は稽古に參ります、伊勢守樣からの御言付で伏見まで參ります、今度御承知でもございませうが將軍樣の御催しで大和の奈良から觀世金春二座の太夫をお召しになります總人數三十八人といふので、所が此方へ來るまでは別に障りもございませんでしたが觀世太夫の座の鼓打が急病で昨日から苦しんで、それがため明日の役が勤まりません、一人や二人缺けるとも一向差支はないのでございますけれども何分最初三十八人と人數を書いて差出してあるので一人病氣だからといつて除くわけには參りません、さいつて素人をやア代りに出すわけにも行かず何しろ日限の仕事で今夜中に其代りになる者を探せといふ稲葉樣の下知でこれから伏見の轄若太夫の座へ參りまして鼓打を一人借りて來ようといふので急いで參ります途中でございます長「ハヽアそれは御苦勞な話しだ、物は相談といふ事があるがごうだ拙者が一つ其代りに明日金閣へ參つて鼓の役を勤めたいがそういふ譯には參るまいか○「ヘエー貴方が長「拙者も大した事は出來ぬが鼓は好きで小さい時分から習つて打つ、代役ぐらゐは差支まいと思ふが拙者で宜ければ一つ連れて往つて呉れ、生涯一度の晴の場所拜觀がしたい御上覽の晴の場所拜觀が叶ひさへすれば宜いのだから何分頼む」と長一郎黃金一枚取出して稲葉の仲間に遣しました。

●塵も積れば山 北葉州郡安定方面にては昨年十二月廿一日より一般擾藥の資金に充當する目的にて面內十六洞に居住する鮮婦人六百三十三人五に糾合して婦人勤儉貯蓄なるものを組織したるが其方法が一寸變つて面白い、即ち毎日朝夕二回炊爨時に必ず食料中より一匙宛つまり毎日二匙の白米を控除して日々紙袋中に蓄積する譯である が成立以來孰れも勤儉力行一日も怠らず規約を履行し來つた爲め本年五月二十一日即ち半年目には積り積つて其高三十一石六斗八升に上つたさうであるが其後引續いて勵行してゐるさうだが今日世上物價の高騰を目にし乍ら猶且つ奢侈の風滔々たるの際斯に推奬すべき美事こいふべきである(大邱)

○提唱と盂蘭盆會 大田岐阜町曹洞宗大本山布教所に於ては八月五日より六日間毎日午前七時より八時迄六祖壇經の提唱あり來聽隨意なり又猶十三日より十五日夜に至る迄同所に於て盂蘭盆會を執行し十三十四兩日法要並に法話、十五日大施餓鬼法話、十五日法要法話あるべしと因に講師は大安布教所主任金谷泰禪、大田布教所主任門脇傑然の兩師なりと(大田)

暦 八月十一日 九紫 舊七月五日 庚寅 本命四綠 暗破 大安

▲西北方は吉南の事方は古方事は吉方あひ...（以下略）

◎双眼鏡◎
◎十五形 六枚玉 十二圓
◎十三形 六枚玉 十一圓 外に三十錢
送料鮮內十二錢 付至急御下命願上候
右 京城太平通電話番內一八番 京城日報 代理部 振替京城三〇〇番

秘密珍書

●男女の妙機 性慾の秘密 內容は六つもすこも天下一品 新らしき肉こ心の生殖珍書洋裝美本紙數三百有

●男女秘密の手紙 若き男女如何なる手紙の書き方 中の秘密の煩悶を說き貞操を告白す

●女の秘密物語 婦人富の夜の秘密 公開出來ざる結婚の秘一讀を要す 感極なし青年男女の一讀を要す

右三冊各冊特價五十錢 均一 何れも前金小爲替又は切手代用 二ハ五錢 郵稅は一冊八錢 代金は前金送り 注文者は東京市芝區南佐久間町二ノ十二 振替口座東京四一六九五番 萬年筆無代進呈 榮進堂

品質第一
誠實第一
行賣第一

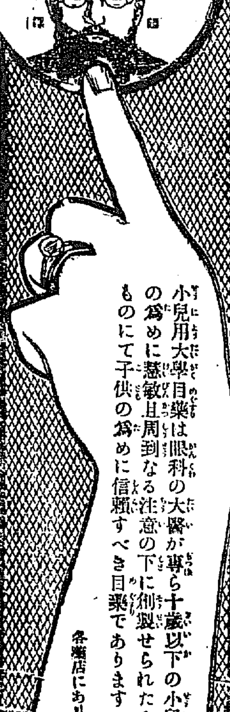
キッコーマン
最上醬油
釀造元 仁川港
日本醬油株式會社
京城出張所
京城大平通二丁目 電話二四五番

京城府明治町二丁目 (本町江戶川橋より入る) 電話三七八番
內科 小兒科 ヂアテルミー科 入院 隨意
中島醫院 醫學博士 院主 中島貞信

漢江遊船 樂 共樂社 龍山元町四丁目 漢江停車場前

ウヅマキ石鹸
考慮の餘地なし
石鹸選擇の上に考慮を費す方は今日よりアレコレとお迷ひなく試みにウヅマキ石鹸を試して御覽なさい
心を魅ける床しい芳香と其の分子の細かい石鹸質から立つ多量の泡沫とは嘗て皆樣に御經驗なき使心地の快感を與へます
東京 横山町 天野礎五郎

小兒用 大學目藥
小兒用大學目藥は眼科の大醫が專ら十歲以下の小兒の爲めに慧敏且周到なる注意の下に製せられたるものにて子供の爲めに信賴すべき目藥であります
各藥店にあり



○いろは順に出ますから切取つて貯めて下さい○
いろはカード 金言
消化と毒けし
仁丹
三輪 井上 兩博士御方劑 本舖 森下博藥房
む 無垢の本心は金城鐵壁なり (羅甸俚諺)
う 運命を廻轉すべく力行せよ (西諺)

汽車 京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京元線 京義線 [illegible]

京城日報

第五版

[illegible]て同市は獨[illegible]東洋の根據地[illegible]

▲條例制定を必要とする[illegible]の如きは實に見るべきものあり[illegible]の豫定中の重きをなせり次は奉天[illegible]々以上三大都市の觀察研究をなす[illegible]大倉等の採掘請負問題が喧傳され[illegible]み終り近く愈々採掘著手の運びに[illegible]

露國の戰時財政（一）

例言

露國は歐亞兩大陸に跨りて其の領域八百五十萬方哩に亘り殆ど全地球陸地面積の六分の一を占む而して一億七千萬の人口は茲に生を營み國內到る處無限の富源を包藏し其富力實に千二百億圓を算すと稱せらる（一九一七年米國メカニック、エンド、メタルス、ナショナル銀行調査に據る）單に此の點より見るも露國の前途は極めて洋々たる[illegible]戰前に於ける露國の狀態を觀るに其の經濟界は尙幼稚の域を脫せず財政の基礎必ずしも鞏固なりと云ふ能はざるの狀態に在り而して今次の大戰亂は經濟界に激甚なる打擊を蒙らしめ其の財政は巨額なる戰費の支出に窮乏殆ど其の極に達し加ふるに政變相踵で起り最近其の國情頗る暗憺たる者あり或は外債の廢棄を宣言し或は銀行の沒收を傳へ來れる等今や同國財政經濟の將來は固より露國夫れ自身の運命亦豫め逆睹すべからざるものあるに至れり而も上述の如く無限の富源と多大の人口を有する露國は他日更に勃興の機運に會すべきは蓋し疑ひを容れざる所なるべく此の時に當り其の經濟界に尤も重大なる關係を有する同國財政狀態の研究は露國の盛衰に最も緊密の利害を有する吾人に取り必要殊に大なる者あるを認め本編は一九一七年三月露國革命の勃發と共にリボフ內閣組織せらるゝや入りて藏相となり更に同年五月內閣改造せらるゝに及び藏相に轉じたるア、イー、シンガリヨフ氏の筆に成り最も簡明に露國戰時財政の大要を記述せるものにして同國財政の眞相を明かにするに於て參考となるべきものあるを信じ茲に其の大體を譯出することゝせり

戰前に於ける財政狀態（一）

歐洲大戰前に於ける露國の財政は國庫の歲計剩餘に依り之を觀るときは其の狀態極めて良好なるものあり即ち政府の歲入は確實に而も豫算以上の實收を納め其の歲出は又常に豫算を超過したるに拘らず之を補塡し尙非常の場合に充つべき巨額の自由剩餘金を蓄積するを得たり今露國會計檢查院の報告に基づき戰前に於ける露國政府の歲入歲出の狀況を左に表示せん（單位十萬留）

年次	歲入	歲出
一九一〇年	二八二九五	二五九六六
一九一一年	二九八九九	二九七五六
一九一二年	三一一三八	三一七一〇
一九一三年	三四五二五	三三八二九
一九一四年	三五八五五	三三二二五

前表の如く戰爭前年迄に於ける國政府の歲入は約三十五億留に達し歲出を超過すると六千九百六十萬留に及び又積年蓄積せる國庫剩餘金は一九一四年一月一日現在に於て五億留以上に上りて國の財政狀態は極めて安固なるものあるを示せり然れども心ある露國の有識者は寧ろ財政の前途に對し憂慮せるは否むべからざる事實にして露國の歲入歲出は甚だ不合理の點多々ありしなり以下少しく露國政府の歲入歲出に關し其の眞相を研究せんとす

▲租稅收入　露國の歲入は主として租稅收入、官業收入及官有財產收入、國有資金收入より成立す

租稅收入　露國の租稅制度に付最も注意すべきは一般に貧者に重く富者に輕き極めて不公平のものなること是なり即ち先づ直接稅に就て述べんに地租、家屋稅、營業稅、資本利子稅の如き直接稅の收入は極めて少額にして例へば一九一三年に於ける歲入總額三十四億五千二百萬留中直接稅の收入は二億七千二百五十萬留にして僅に歲入總額の十三分の一弱に過ぎず是資產階級に對する負擔の輕く小資產階級の負擔は富豪階級のそれより遙に重きを示すものにして政府は歲入の大部分を間接稅より得るが爲なり次に政府の歲入中巨額を占むる間接稅に就て觀るも亦等しく下層階級を苦しむるものにして日用必需品の價格の騰貴は多く間接稅の重課に基因す政府は土地、家屋、資本收入を措いて日用品に課稅し消費者より物品代金と共に其の稅を徴收するの方策に出たればなり即ち戰前露國に於ても消費稅を課したる物品は砂糖、燐寸、煙草、石油、葡萄酒、麥酒等にして又茶、珈琲、護謨、米、綿花、織物、製品等の外國輸入品に對し重き關稅を賦課せり而して穀物酒及び火酒に對して一八九四年迄消費稅を課したるも其の後政府に於て酒精專賣制度を實施し火酒の釀造を官營と爲すに至り從來の苛重なる火酒消費稅は其の販賣價格中に包含せらるゝに至りたり而して政府は一九一三年に於て各種間接稅及び酒精專賣より得たる金額は十六億七百三十萬留に上り殆んど歲入總額の半額を占め直接稅收入の六倍に當れり（朝鮮銀行調查局調查）

（上）近[illegible]長　邦彦王殿下　（下右）第十五師團長　尾野實信　（下左）第十師團長　金久保萬吉

（上）大谷浦鹽派遣軍司令官（陸軍大將）（下右）由比同參謀長（陸軍中將）（下左）中島同參謀（陸軍少將）

コンクリート船に就て

コンクリート船を初めて建造したのは今を去る六十九年前佛國のエム、ランボイ氏である爾來歐洲此の種の船舶が建造されたが孰れも小形船で殆ど實際の價値を有せず從つて世の注目を惹くことが無かつた然るに

▽大戰勃發　以來船腹の大缺乏と造船用鋼材の缺乏とに促されて造船業者をして勢ひ一時的でも鋼船に代るべきものを求むるに努力せしめた爲に當然の順序として航洋コンクリート船の研究を促進せしめて竟に其の建造を見るに至つたのである人も知れる如く此の種の船の建造は最近頗る新[illegible]所謂鐵筋混凝土は建築上最も適當なる材料として認められて居るが今や海上の建造物として之を適用することも決して珍しくなくなつて來た而して近年に於いて最も早く之が研究に着手したのはスカンヂナビア諸國で同諸國は國內に

▽鋼の產出　少く常に其大部分を外國に仰いで居つたが大戰以來其輸入がバツタリ杜絕したので直ちに此の種船舶の研究に着手し之が爲め調查委員會を設け殊に丁抹の如き既に小型の平底船に對して之を取締る規則を一定するに至つた英國にても政府は既に其建造を認め又英國のロイド船級協會でも調查員を丁抹に派して之を研究せしめ此の種船舶に對し船級を附與するに至つた又英國商務院に於ても此の種船舶に關し訓令を發布し米國に於ても船舶院は委託に依て建造されたフエース號の建造に盡力し船舶院に混凝土船建造部を設け之を調查した上多數の建造契約を締結し最近政府直轄の

▽混凝土船　建造部を新設するに確定したと傳へられ又伊國に於ても夙に之が研究を開始し今や大型の混凝土船を建造せんとして居ると云はれて居る又支那に於ても本年五月二十五日長さ六十五呎幅十五呎深さ六呎六吋の一混凝土船を進水し東亞造船界の記錄を作つた斯くの如く各國は競うて之が建造を爲し或は研究に着手して居るが我國は鋼の產出少く特に昨年七月米鐵禁輸に遭遇して造船界に大影響を來たし非常なる困難を感ぜるにも拘らず未だ此種船舶の建造なきは甚だ遺憾とすべきことである素より此種船舶は目下

▽試驗時代　に屬し將來果して實用的價値あるものなりや否やは之を他日に期せなければならぬが今日に於て十分之を研究するの要あるは論を俟たない今其概要を擧げて見ると鐵筋は勿論其最少限度に減じ理に基いて挿入し十二分に其効力を發揮せしめねばならぬ又船の試驗に於て強力上必要なる鋼の截面に等しうするを要する（遞信省技師横田崎氏談）

議長問題如何

安福派の勢力

新國會議員は政府の豫定通り召集に應じ八月十日其の成立會を開催するものとせば先づ兩院共其の議長を選擧せざるべからず而して安福俱樂部派は兩院共最大多數の議員を有し居れば自家黨中のものたるや論なく先づ衆議院議長には自黨首領

▲王揖唐氏を　推擧すべきは已に黨議の確定せる所なるも支障なき限り同氏の當選を見るに至るべしと雖も王氏は他に發展の徑路を開き王印川氏を衆議院議長たらしむべしと云ふも恐らくは實現されざるに過ぎざるべし參議院議長に至つては如何なる派に屬する者も盛んに之に擬せられ梁氏亦多少の希望を持たざりしに非ざるも何分南北兩派の間に介在して妥協の大業を成就せんことを企圖せる同氏は北方政府の參議院議長に就任するの頗る不便なる

▲一部分の感情　ものあるより聊か冷淡の態度を表せし爲め安福俱樂部派[illegible]しものあり梁氏亦之を知らざるに非ざるを以て事を案ずるに就いて寧ろ南方に於ける議長選擧終了後を待つて再び入京せんと試みつゝあり而して安福派中には已に梁氏に望みを絕ち朱啓鈐、周自齊兩氏の間に之を需めんと欲し徐世昌氏を介して之を勸誘せしめつゝある一派と飽まで梁氏を推擧せんとする一派とに分別し本問題に付多少意見の衝突を現はしつゝあるは事實にして朱周兩氏共頗る消極の態度を持し或は閣員の一席なれば兎も角議長としては就任を肯はざるを內表せりと傳ふ梁氏を推擧する一派は之を好機として飽まで

▲梁氏の當選　を期しつゝあり交通系の首領たる梁氏としては[illegible]決するに苦しむべく斯くして目下の所參議院議長は未決の狀態にあり（北京）

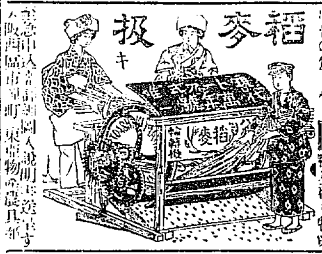
職業　原紙賃與遠近男女自宅で誰にも出來るキレイな手仕事　年中無休日收熟練者六[illegible]　一週間で確實詳細見本付說明書郵券六錢要す（特約店募集）　東京淺草菊屋橋前　朝日商會總本店

大阪造船所株!!!　思惑株として大阪造船所新株御奬めいたし候　同所本年上半期に八十七萬[illegible]

公債株式現物賣買　京城櫻井町一丁目　新田耕市商店　電話[illegible]八八二番

大正八年朝鮮民曆發賣人募集　出願期限十月末日迄[illegible]　大正七年八月十日　朝鮮總督府

大連燒酎　銀牌二個　金牌二個　大連燒酎製造所

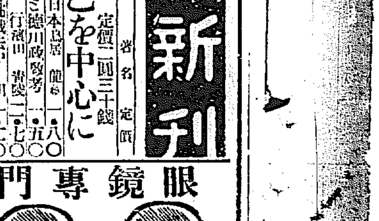


稲麥扱キ　[illegible]

最新刊　書名　著者　定價
◎獨乙を中心に　赤木格堂著　定價一圓三十錢
◎支那鑛產地　小山一郎著　定價一圓五十錢
◎ペン書翰文習字帖　定價五十錢
[illegible]
京城本町　大阪屋號　電話六八四番　振替京城二五七番

質　京城明治町二丁目　大塚質店　電話一八四九　戰慄すべき火災の防備に遺憾なく　多額の融通[illegible]

眼鏡專門



△弊堂特色　レンズ精撰　技術精巧　品位確實　價格低廉　親切勉强　（詳細定價表發行す）　京城南大門通二丁目二三番地　宮川大學堂　電話二九五九番　振替京城壹壹武九番　（眼鏡製造工場子弟入用）

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生　普成商業學校講師　西村眞太郎著　日鮮會話精通　袖珍總クロース頗美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部
取次　京城本町二丁目　大阪屋號　京城本町二丁目　巖松堂

◇派遣軍幹部

九日陸軍省發表＝浦鹽派遣軍司令部編成され軍司令官以下左の如く任命ありたり（東京電話）

補浦鹽派遣軍司令官 軍事參議官陸軍大將 大谷喜久藏
補浦鹽派遣軍參謀長 近衛師團長陸軍中將 由比光衛
補浦鹽派遣軍參謀 參謀本部第二部長陸軍少將 中島正武
補浦鹽派遣軍參謀 騎兵第一旅團長陸軍少將 稻垣三郎
補浦鹽派遣軍參謀 元帥公爵山縣有朋附屬陸軍大佐 林彌三吉
補浦鹽派遣軍參謀 步兵第一聯隊長陸軍大佐 天野邦太郎
補浦鹽派遣軍副官

◇各師團長更迭

九日午前十時左の通り發表されたり（東京電話）（號外再錄）

第十五師團長陸軍中將大勳位 邦彥王
免本職補近衛師團長 第十師團長陸軍中將 尾野實信
免本職補第十五師團長 舞鶴要塞司令官陸軍中將 金久保萬吉
免本職補第十師團長

◇過激派內亂悽慘

過激派軍の勝利に歸したるヤロスラヴの戰鬪は是迄の內亂中最も慘激を極めたり戰鬪は十四日間繼續し同地は屢々双方間に爭奪されたり社會革命軍が占領せる間には二千百名の過激派兵刑に處せられ此結果赤衛軍は恐ろしき復讐を決行し三百名以上の兵員を殺戮したるが中二名は將官なり（アムステルダム六日發電）

◇張歸省許されず

張懷芝氏は曹氏南下の見込當分無きを見七日中央政府に對し曹氏南下の議決する迄山東に歸る可きを報じ來れり政府は是れを許さず速かに漢口に赴く可しと電命する外無かる可しと傳へらる（北京特電）

◇米國獨語教授禁止

米國文部省は米國の各學校に於て獨逸語を教授するを禁じたり（羅盛頓電報）

◇米國の壯丁增加

米國上下兩院に提出されたる新徵兵案に據れば九月初旬迄に十八歲より四十五歲迄の間にて徵兵し得可き壯丁は更に三百萬人を增加す可しと（羅盛頓電報）

◇臨時閣議開催

九日午前九時首相官邸に臨時閣議を開き重要問題に就き協議をなせり（東京特電）

◇上原總長伏奏

上原參謀總長は九日午前七時二十分上野驛發列車にて同十一時四十分日光御用邸に伺候し浦鹽出兵其他重要事項に就き奏上約一時間に亘り奏答し午後六時歸京せり（東京電話）

◇長谷川總督發

長谷川總督は九日午前八時半東京驛發齋藤、大島兩副官、神田秘書官を隨へ歸任の途に就けり、驛頭には寺內首相、大島陸相、大迫、秋山兩軍事參議官、兒玉內閣書記官長、田中參謀次長、原田日本郵船專務、石塚東拓總裁其他多數の見送りありたり（東京特電）

◇松川參議官

松川軍事參議官は九日午前八時四十分東京驛に著せり（東京特電）

◇二將軍動靜

古海、立花兩將軍は九日午前五時四十分著列車にて、宇都宮中將は[illegible]

◎獨墺財的窮味

[illegible]と思惟せる獨墺の商品は其性質[illegible]善せられたり從つて聯合諸國は戰後に於て戰前以上の產業能力を有[illegible]の餓死を防がんが爲の應急手段[illegible]

◎印棉騰貴影響

[illegible]が最近印棉は異常の高値を示し紡績業者は買入を躊躇しつつある[illegible]苦痛を與ふべく目下印棉の成行を觀望しつつあり（東京）

◎郵便物不著

[illegible]連島に引返せしが九日午前五時に至り多少風波治まりたるを以て再[illegible]郵便物[illegible]

◎東少將赴任

新任羅南步兵第三十七旅團長東正彥少將は九日來淸直ちに羅南に赴任せり（淸津特電）

◎野口軍醫部長

關東都督府野口軍醫部長は九日朝著釜直ちに十時半發列車にて北行した り（釜山特電）

◎松崎博士動靜

松崎博士は九日今朝山より歸元せるが十日正午元山發京城に向ふ筈した り（元山特電）

[illegible]同朝入港の釜山丸にて到着[illegible]都督府將軍は九日夜行にて龍山へ古海、立花兩將軍は豫定の乘船風浪の爲め故障を生じ十日午後六時入港の筈なれば多分聯絡船によるならんとの事なるも浪上風波の爲め九日の聯絡船は定時出港未定なりと（釜山特電）

◎本年の米作 豐作豫想

本年稻作付け反別は曩に當局にて全鮮の報告を纏め七月十日現在として百十八萬八千二百十五町步に達する旨發表する處ありしが之を前年に對比するときは約三萬五千町步の作付け增加を示せるが更に其後の植付け增加を約一萬五千町步と豫想する時は優に五萬町步の作付け反別の增加を算するに至り從つて之より生ずる增收高は少くとも六七十萬石に達す可く殊に本年は昨年と異なり水稻の移植に適當の時期なる七月十日迄に殆ど植付けを了りたるを以て今後天候に著るしき不順なき限り稻の生育良好にして或は空前の大豐作と稱せらるる大正三年の豐作に讓らざるの結果を見る可く世間往々過般の雨天連日に亘り陽光稀薄なりしを以て稻の生育に影響すること尠く生育の弱なるを慮り其の豐作を疑ふものあるも其後數日に亘り天候回復し持ち直し來れるを以て毫も右の憂ひなかる可く兎に角今日の豫想に依れば本年は先づ大豐作と見て可なる可し

◎京城通關貿易

京城稅關出張所の調查に係る七月中の京城通關貿易狀況を聞くに輸移出入總計二百四十萬二千四百五十七圓、輸移出品價合計二十三萬九千六百八十圓輸移入品價合計二百十六萬二千七百七十七圓を示せり而して之を

▲前月に對比 すれば出入總計に於て四十三萬九千六百七十三圓の減少を告げ輸移出品價計に於て四百七圓輸移入品に於て四十三萬九千二百六十六圓の減少を示せり今輸移出入品の主要なるものに關し前月と對照して其增減狀況を見るに輸移出品に於ける米は前月に比し約一萬圓を減じて十萬一千四百餘圓、牛皮は約七千圓を增加して一萬三千三百餘[illegible]

大豆は九千圓を減じて二萬九百餘圓を示し粟移入品に在りては前月に比し粟の七萬八千餘圓減少、生金巾及生シーチングの三萬二千餘圓增加

▲日本木綿の二萬八千餘圓減少、毛織物の七萬二千餘圓減少、晒金巾及晒シーチングに在りては殆んど增減なく洋紙の二萬餘圓減少、其の二萬餘圓減少等主なる變化なるが如し今輸移出入品の主なるものを揭ぐれば左の如し

▲輸移出品の部

品名	價格
米	一〇一、四三八
其他の豆類	二、四七五
牛皮	一三、三八三
其他の雜品	七八、六五六
大豆	二九、一六一
人蔘	二九〇
煙草	一〇一、一三一

▲輸移入品の部

品名	價格
米	三五、六〇九
小麥粉	五一、〇一八
砂糖	一三、〇六六
麥酒	九一、五四
粟	四、二九〇
菓子及核子	一五、〇一八
清酒	八、〇八一
綿絲及打綿	三八、七一八
綿糸	一三、〇六四
晒金巾シーチング	五二、五〇二
日本木綿	[illegible]
絹織物	[illegible]
洋紙	[illegible]
生金巾シーチング	[illegible]
天竺布	[illegible]
毛織物	[illegible]
紙其他の紙類	[illegible]
文具	[illegible]
諸機械類	[illegible]
生皮及び熟皮	[illegible]
材木及び板	[illegible]
其他の雜品	[illegible]
鐵釘	[illegible]
煙草	[illegible]
陶磁器	[illegible]
小包郵便物	三八五、一七一

◎米國と朝鮮葉煙草の需要（二）
予の將來觀――某銀行家談

▲對外輸出品を多くす る事は官民共に常に心せねばならぬ、此の意味に於て朝鮮の葉煙草を米國に輸出する事を絕對に禁止する如き事は素より不可であつて馬詰氏の意見の如く朝鮮の造用に供し而して剩餘あれば之れを大に輸出する事は予等の贊意を表するに吝さかならぬ所である乃ち朝鮮の生產量と需要量とを顧み其矢鱈に輸出を盛んにしその價格の暴騰を來さしむる如き事は避けねばなるまいけれども而して或る程度までの値上りは此際煙草業者並に需要者共に止むを得ざるものとして忍んでよからうと思ふ米國に於ける葉煙の需要が戰役も永續すべきものであるか怎うかは今日遽に確な判斷を下す事は予にも出來ない、然し近來米國筋の

▲鮮葉買進み の理由は戰時米國に於ける葉貨の不足其他色々あるであらうが一つ注目すべしと思はれるのは米國の鮮葉需要が大きい意味から來てゐる事であるそれは米國に於ける賣市場はとうも從來土耳古とかマセドニヤとか云ふ世界的產地の豐凶に左右されてゐる傾きがある、そこで米國の煙草業者は外國葉煙の供給を土耳古やマセドニヤなどばかりに賴らず其他の地方にも求めたいと云ふ所から補足的若くば多少牽制的の意味に於て鮮葉の買進みをしてゐるらしいと云ふ事である果して然りとすれば此のスケールは誠に大きいのであつて

▲又永續すべき もので はあるまいか、唯朝鮮の葉煙の產量はまだ少額でその輸出量も微々たるものに過ぎない、それで米國標界の幾干の材料となるかは疑問であるが左樣の事情は此際關係方面に於て十分調查研究しその眞の內容判明せば更に積極的に耕作を獎勵し更に積極的に輸出を獎勵[illegible]

▲米國輸出品は 煙草の外によろしく斯る點から見れば煙草の輸出は京城にとり大いに意味ありと稱してもよろしい

するがよろしからうと信ずるのである、序に少額ながら京城と米國との間に外國爲替の關係のついてゐるのは唯僅に煙草ばかりである今後も當分京城から外國輸出品を出す事は煙草の外にないであらう

◎朝鮮養蠶有望
勸業模範場技師 十時雄次郎氏談

[illegible]氏は此程勸業模範場技師十時雄次郎氏は語りて曰く近年內地の價格昂騰につれ內地に於ける養蠶熱は却々に盛んになつた本年の春蠶は昨年七八月の頃の旱害と今の冲害とで收穫量が幾分減少したのと人夫賃の昂騰とで昨年に比し減收の豫想であつたが事實は減收でも無い樣である

▲人夫賃の關係 と云ふのも養蠶業者には影響があつたかも知れぬが養蠶家としては自分の家族の手間にやつて居るのであるから影響は無いと思ふ蠶種は漸次統一の機運に向ひつゝある事は喜ぶ可き事で多くは雜種である雜種は絲業者の非常に歡迎する處で價額に於ても大分の開きがある現に養蠶業は日本全國に及んで居る有樣で青森縣の如きも近年非常な努力を拂つて斯業の發達に努めて居る諸縣は盛に獎勵をして居るが未だ成績は擧つて居ない朝鮮は寧[illegible]

▲氣候風土の點 から云ふと雨の尠い事など を見ても好適の土地で將來大に發達すべきは疑ひの無い處である又今迄の發達の模樣に見ても餘程順調な發達である處から考へても將來は推測られるのである之から各地の測候所等に就て雨量熱度等を調查し徐ろに將來の計を樹てる準備もしなければならぬが何をいつても前任者が既に苦心を重ねて土臺を造つて置かれた事で私はその出來上つた處へノソリと這入つて來た借家人の樣なもので何等の努力もなかつたが此家をよくして行くには

▲出來ぬ迄も荒らさぬ 丈けの工夫は必要かと思つてゐる

◎仁川立會開始

九日前場の仁川定期市場は前報の如く形勢不穩なりし爲め四節目の賣買を休止せしが取引所は新規賣買を停止し同日後場より立會を開始せり

◎鑛業登錄（七月廿九日）

▲鑛業權設定

銅 鑛 慶南昌寧郡昌寧面 八十八萬四千三百二坪 金鍾鉉、朴宗升
鐵 鑛 黃海道瓮津郡龍淵面 四十四萬四千七百坪 高義煥、朴賓來、韓彝川
銅鐵鑛 咸鏡北道鍾城郡行營面 八十二萬一千百七十五坪 金舜蘇、張鶴燦
金 鑛 同松禾郡、禾面運井面 九十三萬二千四百五十三坪 崔義賢、吳永錫、朴喜作
石 炭 平南江西郡江西面東津面斑石面 七十四萬八千坪 朝鮮無煙炭鑛株式會社

▲鑛業權移轉

金 鑛 全南求禮郡艮文面 石井貞松、谷口鹿十郞、竹島正規、松田久藏
黃海道白川郡牧丹面金山面檜北面 趙元允、金政鎬

▲鑛業權消滅

平北朔州郡鎔□面 廢業

▲共同鑛業者脫退

全南寶城郡鶴川面城川面 長谷川淸吉任意脫退ス

▲事務所設置

金銀銅鑛 忠北清州郡南二面 蠟野兼一 銀銅 清州郡二面大北里二八ノ百(?)事務所ヲ設置シ六月二十日ヨリ鑛業ニ著手
金 平北厚昌郡厚昌面 安龍ト 平北寧邊郡首北面新岩洞ニ七番地山寨鑛所事務所ヲ設置シ七月一日ヨリ鑛業ニ著手
砂 金 平北厚昌郡厚昌面郡內里大河峠二大 朴蘭梅 朝時鑛業事務所ヲ設置シ六月二日ヨリ鑛業ニ著手
金銀鑛 平北宣川郡東面郡山洞 加藤萬四郎 六月十日宣川金山事務所ヲ宣川金山鑛務所ト改稱
同 同宣川郡□面定州郡玉泉面 同
鐵 鑛 江原三陟郡下長面 久保川松之助 江原三陟郡下長面上古美里ニ三陟鑛

同 山□郡北面所ヲ設置シ六月二十七日ヨリ鑛業ニ著手 忠北清州郡美[illegible] 忠北清州郡南二面大[illegible]
金 鑛 忠南洪城郡長谷面 丸山 忠南洪城郡長谷面ニ鑛務所ヲ設置シ六月九日ヨリ鑛業ニ著手
同 同郡洪北面大英里ニ孝英金鑛事務所ヲ設置シ四月十日ヨリ鑛業ニ著手
同 同郡長谷面大觀里ニ陝龍金鑛事務所ヲ設置シ六月十三日ヨリ鑛業ニ著手
金銀鑛 平南成川郡大谷面文蒲里ニ成大鑛業事務所ヲ設置シ五月十五日ヨリ鑛業ニ著手 金純元
金銀鑛 平北江界郡龍林面南興洞 江界郡南興洞鑛務所ヲ設置シ五月一日ヨリ鑛業ニ著手 趙淳弼

◇政府米價引下策

全國米穀取引所の處分問題

沖小路農商務次官は米價騰貴の際限無き米價騰貴に就き過般來或る調查を爲しつゝありしが大體の成案を得たれば九日臨時閣議開會其承認を求めたり成案內容秘密なれど米價引下策は（一）米の管理（二）米專賣制度（三）米價最高價格制定の三者なるが（一）と（二）とは有効なるも資金多額を要し實行困難にて（三）は制限價格の決定稍困難なれど歐洲列强に其例あり其効果も（一）（二）に讓らざれば結局是れに決定す可く是と同時に全國米穀取引所の處分問題あれど農相は大々的改革を斷行する如し（東京特電）

◎總長部內巡視

兒玉總務總長は九日午前司令部及び總督部の各課室附屬建物等を巡視せり

◎山本中佐出發

軍參謀山本中佐は十日著任すべき宇都宮司令官出迎ひの爲八日夜釜山に向け出發せり

鳥瞰 組

外國の日本に對する批評で何時も吾人に聞かさるゝものは大概決まつて居る▲やれ日本は强い國だ正義の國民だ社會は歐米に劣らない進步をしてゐる文化には驚くべきものがある▲てな事で一から十迄日本は綠から見ても橫から見ても世界無双の國だと褒め稱して居るのが常だ▲又其の批評を恐く鵜呑みに受けて實際然うだ日本の實情を審にしたものだ歐米人は皆其う云つて居る▲など大分言葉や筆の先に悅がつて居る者も多い樣に見受けらるゝが▲之が果して外人の見た日本であらうか誰でも褒められて腹を立つる者はなからうがお調子に乘ると飛んだ事になる▲其等の人に鳥渡御注意の爲に忌憚なく現今の日本を批評した某外紙の云ひ分を紹介申さう而して之は或はチト酷評かも知らぬが他山の石としてサ▲曰く戰爭は日本の品性に大なる惡化を及ぼして居る▲成金は續々出現し金錢は政治商業學術の中心地を腐敗したり▲明治の時代であつた高尙な愛國心は今や狹隘偏僻な戰爭熱と代り奢侈の極揮は大和魂を撲滅す▲故に戰後の日本の危險は國際的孤立に非ずして寧ろ此人心の大變化に在るのだらうと▲又一米國某大學教授の談によると▲戰爭の影響から日本は化學工業其他一般の物質科學研究が盛んになつたが▲皆金儲けを目的としての研究らしい▲我米國の學者は政府實業家と連絡を取り學者は成金の支配なく自由に金にもならぬ基礎科學の研究に沒頭し▲永遠の勝利を期して居るが日本の現在は工科則ち物質科學のみが勢力あつて文科の勢力は絕無と云ふ姿では將來が案じられると▲此の何れもの批評が現今の日本に當つて居るか否かは別として▲此の言を聞く者は何と考へる

□號外發行

九日午後浦鹽派遣軍幹部及び各師團長更迭辭令を號外とし讀者全部に配付したり

健腦法と就職の早道

▲頭腦の惡い人は駄目 就職の早道は學問でも知識でもない今日は到底學問許りでは駄目である何を爲すにも機轉が必要で、頭腦が明晰でなくては何處へ行ても雇入れる人がない。頭腦を明晰にするには腦の營養素たるリンサンを多量に含んでゐるレーベンを服用するのが一番早道である。

▲球算の成績 職業に就くには先づ球算が上手で無てはならぬ。球算は非常に難しい物で容易に覺えられないが頭腦さへ良ければ直覺られる腦神經衰弱ヒステリーの人は總て頭腦の惡い者であるから岡田博士證明の健腦劑レーベンを服用し先づ頭腦の掃除をする必要がある。今直ちにレーベンを服用し博士の證明を實地試みよ。

▲就職の早道は無線電信 職業が無いと云つて悲觀する人は京都で現今最も需用の多い無線電信を學ぶが近きも成功の早道である。目下日本で一番困つてゐるのは無線電信技師の不足で無線電信の心得さへあれば各船舶會社は競ふて技師として雇入る、將來見程有望な物は無い二百圓位の俸給にありつく事は容易な事である。僅三ケ月位で一躍技師になるのであるから非常に有利な職業である。然し不眠症頭痛腦貧血記憶力減退神經衰弱の人は兎角頭腦が鮮明でないから當研究所では岡田博士推奬の健腦劑レーベンを服用して見た處が頭腦を明晰にする必要がある。記憶が惡い爲に職を失ふ者は毎月數十萬に達する由、一刻千金今直に本劑百錠乃至二百錠を試みよ。

■使はれる人の心得 他人に使はれる人は正直で勤勉できいて頭がよくて何事にも要領を得た者でなければならぬ。頭腦が惡いと主人に何を言付つても解らず一向要領を得ない。神經衰弱を治さなければ要領は得られない頭腦の花弱を治すには健腦劑レーベンを服用する必要がある。レーベンは必ず貴下に多幸なる新生面を與へるにちがひない。

■明晰なる頭腦を作る法 頭腦を明晰にするには岡田博士其他諸大家の證明した如く腦の發達を促すレーベンを服用する必要がある本劑は奏効顯著にして常に醫學士が多年苦心の結果發見した名藥であるから腦神經衰弱ヒステリーは勿論頭痛逆上記憶力減退眩暈耳鳴鼻血を治すに特効がある。明晰な頭腦は成功の基で多幸なる新生涯に入るの近道である。今直にレーベンを用ひよ藥價三十錢五十錢八十五錢一圓一圓六十錢三圓五圓五十錢で全國の藥店にあり尙ほ東京銀座弓丁三中南定太郎宛ハガキにて申込次第當得醫學士著腦神經衰弱療法及び博士十共著精神療法の二冊を直に送呈

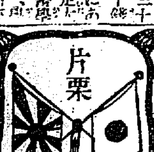
京日案內

普通一回前金一圓（但名一回）七拾錢番外一回（但に付金）
▲申込中途退止の時は料金不返却 ▲六回以上の申込は特に便宜の事 ▲申込曾は返信附にあらざれば回答せず

代診醫局生見習看護婦急採用 平壤泉町道廳前 齊藤病院
藥局生及見習看護婦採用 平壤泉町（道廳前） 齊藤小兒科病院
代診生至急入用 姓名 仁川支局
●讓店 都合につき有望有利なる石鹸製造販賣所至急讓る（姓名在社）

（番外）

◎外交事務員 男女を問はず採用す希望者は履歷書携帶本人來談あれ 黃金町二丁目 京城新聞社
金銀細工職人募集 希望の方は御來談あれ 京城黃金町二丁目 電話一〇一五番 喜多金光堂
女事務員採用 希望の者履歷書携帶本人來談 櫻井町 新田演藝部
帳簿係入用 簿記の心得ある人希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城本町一丁目 日之出商行
店員貳名入用 希望者は來談あれ 京城旭町一丁目 中島印刷所
時計店員入用 內地人二十五六歲迄の者至急來談あれ 龍山三角地前 西山時計店
◎店員入用 年齡十七八歲以上二十五歲迄二名呉服雜貨に經驗あるもの希望者履歷書携帶本人來談保證人を要す 仁川新町 坂田支店
發動機 四馬力英國製附屬品付讓る希望者は御照會あれ 使用中のもの 仁川新町 美濃谷商店
◎店員入用 年齡二十歲以上にて經驗ある者本人來談但保證人を要す 明治町二丁目 電二六一 唐川呉服店
店員入用 廿歲より卅歲迄の者市內に保證人を要す履歷書携帶本人來談あれ 京城南大門通四丁目 福田印刷所
內地人女子募集 廿五六歲迄服務掛ニテ承合スベシ 龍山 總督府印刷所
◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依頼に應ず 明治町 柔術道場



片栗 朝鮮成興 宇佐美製粉所

電話增設 新設 三二一六番 舊長二八一〇番 京城南大門外 米穀問屋 齊藤商店

藥草 淫羊藿エキス

定價 二十五入 金五十錢 三十五入 金八十五錢 四十五入 金一圓 五十五入 金一圓三十錢 郵送料 一鮮內 二外 三十錢

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出地方に限られて彼の高麗人參の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すとて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將來精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりと雖も何如なる成分が人體に有効なるかは彼の神秘的なる人蔘と同じく明白ならざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

主効
一神經衰弱症 一胃腸病 一ヒステリー
一貧血症 一腦病 一ヒポコンデリー
一腎臟病 一生殖器病 一老衰
一脫腸病 一リウマチス 一精力減退

以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし體力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒しEOF強壯を良くす
十一、手足腰の冷ゆるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、腸胃に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量 一日半グラム乃至一瓦を溫湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
注意 空腹の時飲用するを良しとす。エキスは香氣苦味を併有す諸酒にて嚥下すれば樂なり。本劑は少くとも一ヶ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ケ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金（京城日報代理部 振替京城三〇〇番へ拂込み通信欄にて御注文の事）にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損と相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本業取次販賣の御希望有之候はゞ御相談可申上候

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番構內十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

課題及募集規定

[illegible]募集規定 ▲用紙は判[illegible]官製又は同形の用紙一枚[illegible]住所氏名明記の事[illegible]

○外交的手腕に富んだ 得難き軍略家
派遣軍司令官大谷大將
岡本功少將談

曾て駐劄軍參謀長として朝鮮に居た事がある

軍事參議官大谷喜久藏大將が浦鹽派遣軍司令官に補せられたる旨の電報を齎らし龍山に岡本功少將を訪へば將軍は語つて曰く『僕は大谷大將に就いては餘り多く語る資料を持たないが大將は曾て駐劄軍參謀長として朝鮮に居られた事がある確か日露戰爭の終り頃即ち明治卅八年頃だつたと思ふ僕はその

◇當時軍の參謀 少佐で暫く一緒に居た事があるから朧氣ながらその輪郭丈けは知つて居る大將は士官學校出身でまだ六十には手が屆くまい大將の實役停年は六十五歲であるから停年には尙五六年も餘裕がある譯で大將中の若手としてである參謀長時代から非常に沈着所謂人も許し自らも許して居る方な沈毅深慮に富んだ人として名高い軍略家としても又と得難き偉材であつた果せる哉其後次第に累進して第五師團長から敎育總監に補せられ秋山將軍、井口將軍と共に大正五年の秋陸軍大將となつて軍事參議官の要職に就かれた

◇今度數多の大將中から拔擢せられて浦鹽派遣軍司令官に補せられたのは固より其所で大將としても本懷であらう今度の派遣軍司令官は聯合軍總指揮官として各國の軍隊を統帥するのであるから、軍略に秀でゝ居ると云ふ外に德望も高くなければならず外交的手腕も大いに必要であるが數多の將星中から大將が特に擢んでられたと云ふことは無論之等の點にも傑出して居る爲めであらう、青島戰爭の際は攻圍軍司令官として驍名を馳せられたが更に角大將ならば何處へ出しても立派なものである、尙大將と同時に派遣軍參謀長に補せられた由比中將は近衞師團長であるが

◇風采の立派な 陸軍切つての ハイカラとして通つて居る』因に大谷大將は福井縣士族大谷正德氏の七男で安政二年十二月二十八日の生れ、明治十二年陸軍步兵少尉に任ぜられ同四十二年八月陸軍中將に進んで第五師團長に補せられた、其間第六師團、第四師團、近衞師團の各參謀長、敎育總監部參謀長、陸軍戶山學校長等の要職に就き二十七八年役の際には廣島大本營に在つて謀策する所鮮からず其功に依つて功四級金鵄勳章を賜ひ勳五等に叙せられた其後三十七八年役には第十二師團兵站監、敎育總監部參謀長として勳功あり勳二等に叙せられ功二級金鵄勳章を賜はつた其後青島戰爭には攻圍軍司令官として勇名を轟かし大正五年秋陸軍大將に昇進したことは今尙人の記憶に新しい所である

▼軍事上の新知識
と英國流の外交的手腕に富んだ派遣軍參謀長由比光衞中將

浦鹽派遣軍參謀長に補せられた由比光衞中將は舊土佐藩士由比光宗氏の長男で本年五十九歲である明治十五年陸軍步兵少尉に任ぜられ

▽爾來累進して 大正三年五月陸軍中將に陞任し其間參謀本部第二局員第八師團參謀長近衞步兵第一聯隊長步兵第二十七旅團長等に歷補したが現職近衞師團長になる迄は陸軍大學校長であつた日淸の役には第二軍參謀として功あり日露戰役には第二軍參謀副長として偉功を奏し

▽其功に依つて 勳三等功三級に陞敍せられた、中將と同懇なる第七十八聯隊の某將校は語つて曰く『中將の先祖は代々土佐藩の勘定奉行を勤めた由緒ある家柄である中將は永らく英國に留學して居た丈け英國流の外交的手腕に長じ風采も亦中々のハイカラである然も爲人は豪放磊落で他に特有の武人氣質を失はぬ所が中將の

▽凡ならぬ所以 である且つ頭腦の好いのと軍事上の新知識に富んで居る事は有名なものであるから派遣軍の參謀長としては最も適任であらう』

○○○者に休職手當給與
家族のために

朝鮮の官廳に在職して居る人々で○○○の爲め○○して國家に盡す官公吏に對しては其の不在中は休職として現職手當の給與を受けて居るが、此の內容を聞くに○○した人の階級に依つて軍隊から受ける給與額を控除した分を奉職中の官廳から給することになつて居るから收入の點には休職でも何等の相違はない、而して官廳以外の銀行會社商店工場等に就職中○○した人に對しては其の給與に就いて一定した標準を聞かないけれど何れ相當の途は開くべきもので京城でも有力な銀行會社等では概ね官廳の給與振りに準據した恩典を與へてゐる模樣である夫れで平素生活費を濫費する主人の家庭であれば妻女の勝手元の手廻りは主人の不在中が却つて氣樂かも知れぬといふ人もある

○脫走囚捕はる
忠北陰城にて

七月二十六日京城監獄麻浦煉瓦工場にて作業中看守の隙を覗ひ逃走し行方不明となりたる強盜囚張大龍は其の後全鮮の各警察署に手配りして搜索中八月六日忠北陰城警察署の手に逮捕さる

○皇化を成すの道
朝鮮視察の感＝有松拓殖局長官談

五月二十九日より五十餘日間、青島より濟南に出て鐵路、上海に至り揚子江を溯りて漢口に至し、漢鐵道により北京天津に至り長春、ハルビン、大連、奉天を經て朝鮮を視察し七月二十二日歸京せる有松拓殖局長官は英氏を麻布本村町の邸に訪ふ『實は私は成るべく新聞記者には面會しないやうにしてゐる、といふのは話た事をよく間違へて書かれるので非常に困る事がある、イヤ大した變つた話もないが

◆朝鮮も急いで 通つて來た爲別に何も見る事は出來なかつた然し匈軍に際りの無い所を言へば、朝鮮の事を皆が植民地植民地と云ふのは面白くないと思ふ私は此植民地と云ふ字は使はない事にしてゐる、といふだけの目的を以て內地人を渡鮮させるのは本意ではない、抑も植民地施政の目的には二通あつて一は

◆此利益を得る といふだけを目的とするのと、又一は土地を開拓して民を安んじ郁々たる皇恩の下に同化の惠みに浴せしめるといふのとである、私の主義は後者であつてもとより前總督寺內伯の執られた政策も主旨がここに在つたことは言を俟たないことと思ふ、そこで何物をも平均して進步させなくちやならない、敎育とか又產業、行政、交通機關といふ樣なものを同等に進步させ、利益の厚薄に不關、害を除いて仁政を布き、文化に導いてやらなくちやならない、此主義によつて

◆併合以來施した 政策が其功績を現はしてゐるといふ事は朝鮮に行つて直に眼に映じたところである、朝鮮の人々は由來其頻繁な政變の餘弊を蒙つて疲困憊の差にあつたので、これに對し所謂郁々たる皇化を以て臨み仁政普きに至れば多少の失費は必ずしも失費を以て目すべき結果のものでない、況はんや朝鮮と日本とは關係が深く風俗習慣等も元は一ツだ、日本の或物は朝鮮から渡來し朝鮮の或物は日本から渡つたものもあるだらう、又朝鮮の人が日本に永住し、日本の者が朝鮮に渡り、既に其の子孫の或は日本人となり、或ひは朝鮮人となつて今日の日を送つてゐる者も多くある、斯んなに深い關係を持つた朝鮮だから其民を

◆所謂植民地の 民と思はず、同胞として同化につとめたならば皇化を大成することも容易のこと、思ふ、しかし動もすれば無心の猿が出て、不穩の振舞をなす事がある、が、是等に對しては大いに威力を加へなければならない、是は已むを得ない事で、又怠るべからざる事である』長官は漸く熱み覺けて更に語を續ける『而して朝鮮で普通學校などに行つて授業の狀態などを見るに朝鮮兒童の發育のいい事は

◆實に驚く程だ よ、あんなによく讀める、頭腦を持つてゐても其應用といふ力に乏しいのだらうか、イヤ滿洲の方は又別で、青島の方面の事なども マア今日は止しておかう』(東京支局)

○蠣殼町市場の立會休止

東京日本橋蠣殼町市場は鈴木一派の解合交渉に望みを繫ぎ連日休止を續け居たるが依然同派の態度煮え切らず九日もまた立會を休止せり(東京特電)

○淸津 一升四十六錢

淸津市中の米相場は九日一升四十六錢を稱へつゝあり(淸津特電)

○高島氏講演會

朝鮮敎育研究會にては九日午後四時より南山京城高等女學校に於て兒童心理學者高島平三郎氏に依囑し通俗講演會を催せり氏は約一時間に亘り兒童學最近の進步に就き有益なる講演を爲せるが學校敎員多數の來聽者あり盛會なりき

○目覺しい 英潛航艇の活動
未だ一般に知られざる 赫々たるその功績

英國潛航艇の活動は極めて小部分しか世間に知れ渡つてはゐないが併し實際に於る其功績には實に赫々たるものがある特に英艇の活動場は獨逸の夫と異り總てが

◆機雷の縱橫に 敷設してある獨逸港灣であるから其の苦心も亦一通りでない何と云つても獨逸側のは主として大洋上に於て抵抗力の乏しい汽船のみを目的に襲擊するので其の苦心の點に於ては迚も比較にならぬ次に厖々の場合に於ける英國潛航艇の活動振を紹介することは頗る興味ある一例はへリゴランド灣內に於る

◆英艇の策動 であるヘリゴランドは獨逸がジブラルタルと賴む所でこの灣內に侵入して大膽なる行動を採ることが實に危險中の最大危險事である而も其の英艇がこの縱橫無盡に機雷を沈置してある同灣に深く潛入して其のペリスコープを水上に出して見ると其の鏡面には一隻の獨逸潛航艇が映つて來た其獨艇は外洋の活動から歸港した處であつて而して今しも乘組員が

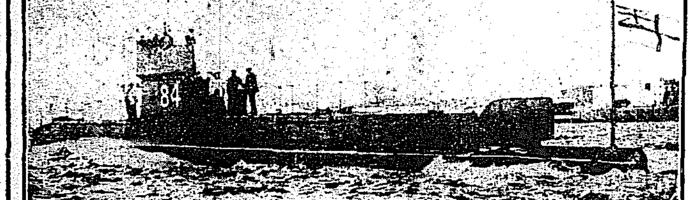
◆艇上に出て 港內陸上の群衆と交驩してゐる所であつた英艇は早速其れに向つて水雷を發射した而して夫れが美事に敵艇へ命中し折角外洋に於ける功名を齎した敵艇を見る間に海中に葬つて了つたこの立派な成功を收めた英艇は何等の損害も受けずに悠々と英國根據地に歸還したと云ふのである又敵驅逐艦を攻擊する場合の如きも敵が

◆鋸齒狀航路 を取つてある時程攻擊の困難なる者はない殊に海面が穩かである時分は魚形水雷が突進し來るのが判然とわかるので敵は即時に此の水雷を避ける手段を取る、或一英艇が北エームスとウェーゼル河との間を無難に通過してゐるを發見したのであるこれを見た英艇は凡そ二時間程も虎視眈々其の附近に好機を待つてゐた

◆軈て敵艦が 五百噸の距離に來るを待ち受けて二個の水雷を之に向けて發射した八分の後ペリスコープを擧げて見ると敵艦は艦首を高くしたまゝ沈沒しつゝあつた此時英艇は更に他の一隻を攻擊せんとしたが其時敵の驅逐艦が更に二隻現れ來つたので其の計畫を放棄するに至つた

◆偖て潛航艇 乘組員の艇內に於ける生活は實に困難を極めたものである殊に冬期の困難と來ては目も當られない艇內の空氣の如きは零度以下數十度にくだり無線電信のアンテナの如きは堅氷に閉されて用をなさなくなる而も其が當天の時など其の困難實に想像以上であるかゝる際には視界が益々狹小となり二十二尋の水中に於ても尙且の動搖が甚だしい勿論今は盛夏の季であるから

◆其方の困難 はあるまいが今後益々旺んに行はれてゐる危險なるヘリゴランド附近の日獨しき活動や遠くバルチック海や大西洋の地中海に出動してゐる英艇の活動の中には殊勳に値する幾多の物語りがあると云ふことである



米價騰貴と生活
▲實際米が有るか 無いか調查して欲しい
總督府當局に望む……

米價の騰貴は在米の不足が主なる原因だと云ふ玄米が既に農家の理想相場を突破し目下三十七八圓と云ふ空前の高値を現はして居るにも拘らず細民の拂々しくない所を見ると實際農家に貯藏米がないのだと云ふのが事實らしくもあるが又一方には如何に消費高が激增したとは云へ一昨年の

▽…豐作で 充分其穴を埋めることが出來るからまだまだ農家に持米がなくてはならぬ夫に缺乏がないのは農家が米價騰貴の趨勢を見越して惜んで手放さないからだと云ふ說もある何方が本當か鳥渡判斷に苦しむが今の所某人側は極力前說を把持し某人側は後者が事實であると信じてゐるやうだ在米が實際に拂底してゐるのなら兎も角尙多少でも農家に持米があるとすれば今後の

▽…米價に 非常な變動があるのは勿論で若し農家に餘裕があるにも拘らず尙此上の騰貴を夢みて賣惜んでゐるとすれば甚だ不都合で國民生活上の大問題として斷じて看過すべからざる事と言はねばならぬ農商務省は深く此點に鑑みる處あり米價調節の一端として汎く全國に亘り十石以上の在米調查を始めたと云ふ事だが朝鮮にも既に石四十圓臺を割つたこともあり馬山の如きは一躍

▽…五十圓 の聲を聞くに至つたのみならず益々騰貴の趨勢を辿らんとする今日右の政策は直ちに移して朝鮮に於ても亦實施する必要はないか在鮮千五百萬の民衆は消々として天井知らずの米價に一大脅威を感じ生活難の聲を高くするものあり叫ばんとする折柄吾人は總督府

▽…當局が 一日も早くこれを實行せんことを望んで歇まぬものである遲れたりと雖も遲きに勝ること萬々、若し其結果實際に在米が拂底して居るものとすれば更に臨機應變の調節策を講じて貰ひ度ものである(某實業家談)

○馬山白米 五十錢
人心恟々たり

馬山地方は八日白米一升五十錢となり倍騰せん模樣あり爲に人心恟々たり(馬山特電)

○元山から葛麻へ
外人の道路開通計畫

元山葛麻半島の警署外人は元山よりの道路開通計畫を發表するため十日元山官民の主なる者を招待し懇談す可し(元山特電)

○八年朝鮮民曆手續

朝鮮總督府出版の大正八年朝鮮民曆を發賣せんとするものは右願書を本人居住の府郡島廳を經由して十月末日迄に總督府總務局印刷所に提出すべし而して指定員數は京城十八人大邱三人釜山二人木浦二人開城二人海州三人平壤四人鎭南浦二人義州二人元山二人咸興三人北靑二人鏡城二人其他府郡島各一人なりと

○無門會 若草町曹洞宗に於ては午後時より朝鮮銀行前府土木課前に於て無門會を開催す

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

▲物は付『必要なものは』

◎戰爭電報の○○（一等） 京城大和町一丁目 桂 信介

▲戰時局國論統一 鴨江畔 逸民

▲我帝國民に大和魂 京城 折 薫

▲戰後に於ける國民の覺悟（先着） 仁川 呂チヤン

▲月下の○○ 金浦 キリ字

京城府告示第七號 … 大正七年八月十日 朝鮮總督府京城府尹 金谷充

正誤 八月八日附本紙掲載京城府方法所商業登記公告中十行目ノ『東西貿易商會』ハ『東西貿易商會』二十二行目ノ『松原通一丁目』ハ『松原通一丁目』ノ誤植ニ付茲ニ正誤ス

李王職御用 模範牛乳 ニッソ 石鹸 洗粉 京城蓬萊町四丁目 東亞牧場 電話

內地材各種 鴨綠江原木卸商 平野材木店 釜山榮町 出張所

釜山名商店案內

酒精 燒酎 西貢米 砕米 砂糖 麥粉 罐詰 食料品 雜貨 釜山埋立新町 福榮商會 電話長一〇八番

雜貨問屋 釜山大廳町 明治屋本店

洋酒 罐詰 糖粉 釜山 あづま商店 電話三五九番 振替京城三九番

スマート商會

乾物 糖粉 煙草 雜貨 卸問屋 釜山 山西一義商店 電話七〇四番 振替京城二〇〇番

人蔘精主葡萄酒

いまなをるはぐすり 今治水 いかなる齒痛も不思議に治る!! 主効 齒の痛み 齒の根の痛み 神經より發る齒の痛み 口中の齒より發る痛み 逆上より發る齒の痛み 全國各藥店に取次す スグ效いた喜ー ピンセツト付 價十五錢 消毒綿 廿五錢 三十五錢 本舖 大阪 東京 丹平商會

ヨクキク! ひぜん水 本舖 大阪市西區新町通二丁目 田知本和三郎製 各藥店に販賣す 振替大阪二八八番

鐵道局拂下品販賣 夏洋服 冬羢服 小倉服 軍隊拂下品一式 和洋古衣服類 新調洋服類 多少不拘御用命被下度候 龍山元町二丁目 電話長一〇五番 和洋衣服 官衙拂下品商 金子商店 振替口座京城三八一三

金剛山寫眞帖 定價金貳圓五拾錢 送料鮮內三十二錢 鮮外三十錢
金剛一萬二千峰の絕勝中其の精を抽き粹を選びたる鮮麗優美なる寫眞版約九十面をアートペーパーに印刷して一卷の美事なる畫帖となしたるものなり故に觀る者は居乍らにして所謂る金剛山裡の崇嚴なる奇勝及び古雅なる殿堂に接するを得べく時將に漸く盛夏に入らんとするとき之をひもどかば京風腋下に涌くの槪あるべく更に又近時交通便開けしを以て兩三日の閑を金剛山に割かんとする人の爲めには絕好無二の東道者たるべし殊に製本は布製表紙の古雅なる和裝に成り應接等に備ふるには極めて適當なる畫帖なり
發賣所 京城太平通 振替京城三〇〇 京城日報社代理部

資本金壹百萬圓 不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候 株式會社 京城 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙 支店所在地 開城、春川、大田、江景、公州、淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院 普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

◉商號變更 元吉永商會今回左記の通り改稱仕り從前通り無變化營業罷在候間倍舊の御引立願上候 龍山京町十四番地 鐵道用品一切 洋鐵 鋼類 カナヘ商會 岡本宇之助 電話一五一番

魚釣具 投網 卸小賣 鳥捕用カスミ網各種あり 御申越次第定價表進呈 京城永樂町二丁目 吉備商會 電話三一四番 振替京城四三二八番

夏洋服 上下二枚 折襟詰襟 制服同價 送料鮮內二十四錢 外五十錢
ヘイヤクロス（品切） 斜子本リンネル 白及ビ薄茶 シユランク 白及ビ薄茶 白パナマ地 ラミー麻（白及ビ薄茶） 白綿リンネル
金拾七圓五拾錢也 金拾五圓五拾錢也 金拾六圓八拾錢也 金拾八圓五拾錢也 金拾五圓五拾錢也 金拾貳圓五拾錢也 金九圓貳拾錢也 金七圓八拾錢也 金七圓參拾錢也 金六圓五拾錢也
▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

優等清酒 一鶴 發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話六五六 振替京城四二〇番

アスフアルトフエルト 一便利瓦（マルソイド製ラバロイド） 各種各種 京城永樂町二丁目六〇 德田商會 電話二三二五番

妻の心　六十一

九の十一　小林蹴月作　武内桂舟畫

『血相を變へて、』お俊、お前は何をお云ひなんだね。』と、喜久子は内心悚然としながらも、飽迄もきつた落着た調子で、詰るやうに己を睨むお俊の顔を睨み返した。

『何をでは御座いません。御隱居樣、貴女は鬼よりも蛇よりも恐ろしいお方で御座いますね。奥樣の此の通りお弱りになつてお在遊ばす事を御覽遊ばしながら、妾と同じやうに外へ出て行けとは、殘酷にも程のあつたもんでは御座いませんか。』

『喧ましい、何をお云ひだ。お前なぞの知つた事ぢやありませんから、さつさと出て行きなさい。』

『いゝゑ、然うは參りません。妾の大恩のある奥樣のお困りになつてる所を、見す見す打捨つといて、妾一人で出て參るほど、妾はまだ薄情な人間にはなれませんから、奥樣が是非連れて行けと被仰います事なら、妾の身にお引受けして、何處へなりと御同道致す覺悟で御座います。失禮ながら御隱居樣、貴女は實のお子の奥樣のお命よりも、町川家の財産の方を大切に思召せばこそ、その樣な殘酷極まつた事を遊ばすんで御座いませう。今までの御主人樣でなければ、妾は……、妾は眞實、奥樣のお身代りになつて、貴女を取殺しても了ひたいほどに……口惜く……。』と、お俊は、眞個逆上せ返つたかと思ふほど、むきになつて口端に泡を飛ばしながら、遮二無二喜久子に喰つて掛るのである。

『お巫山戲でありません。老碌は爲て居ますがね、お前なぞから、まだ意見を爲れたり取殺されたりするやうな妾ではありませんぞ。自身がわるい事をして、暇を出されたロ惜まぎれに、お前に何がな口實を設けて、妾を遣り込めやうと思つてお在るんだらう。ね、俊や世間には能く奉公人根性と云つて些細な事を根に持ち、主人の家へ放火なぞする亂暴者もあるやうだが、お前も恐らく、そのお仲間らしいね。』

『何で御座いますつて、御隱居樣妾が若し當家樣へ放火でもする位ならば、その以前に先づ、御隱居樣のその邪慳な……その片意地な歪みくねつた心臟を刺貫してから後の事で御座います。』と、お俊は徐々自暴自棄の大言。どうせ、云ひ出したからには、奥樣の不幸不幸も全部自分で背負つて立つて云ひ卷くらうと云ふのである。流石にそれを聞きかねた綾子は、目顏で俊やを制するやうに爲ながら、

『まあまあ俊や、何は何でもそりやお前の暴言と云ふもんです。阿母さまの被仰る通り、妾もお前も此の邸の門を出さへしたらば、それで可いではありませんか。』

『でも奥樣、妾の事を放火の仲間だつて被仰るんで御座いますもの、どうせ放火とまで云はれる位なら人殺しも爲たつて、何の違ひもないでは御座いませんか。妾……奥樣のお心が可愛さうだと思へばこそ……』と、お俊は、叉しても、おいおいと泣き聲を擧げつゝ、

『奥樣、構ふ事は御座いません。後々の御心配を遊ばさずとも、妾の參る所までお越し遊ばして下さい。』と、早や綾子の手を取つて、椽の上から扶け下さうと爲る。

綾子は、云はるゝなりに徐々と郎下の方へ歩み始めた。

喜久子は、今更に下手から出て引止めもならない仕義となつたが、然ればとて、この儘默つて打捨て置いては、綾子の一命が案じられるばかりか、町川家としても、頗る都合がわるい事が起つて來るに違ひないので、如何はせんと熟慮の思案を遂らして居る處へ、此の場の談判が餘りに長引過ぎるので内々容子を窃聞きする爲め、次の間の邊まで忍び寄つて居た順吉郎は、勿論喜久子への忠義立ではあらうが、怒りずまに此處へ躍り出づると等しく、矢庭にお俊の襟首の邊を吻と云ふほど蹴つ飛ばした。お俊は、一堪りもなく前へ倒れた。剩さへ、手を取られて居た綾子も、同じくその機みを喰つて、アツと聲を云はず横ざまに倒れた。而も、石よりも堅い三寸角の柱の稜へ、充分額腹の邊を打付けたので綾子の方が反つて、その喫驚と急所の打撲傷との爲めに、一時的正氣を失つて了つた。

斯うして竟に大なる災禍の神は町川家の全部を蹂躙り踏み壊しに着手つたのである。

皮徽科 外科 專門 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二三五八番

龍山元町（電話一〇四番）幾野醫院

訪問の時の一夏の化粧　―涼しい感じを全身に漲らす―

◇白粉の塗方

夏はお化粧のくづれ易い時ですからどんなに綺麗にお化粧しても暑さ盛りに一時間も人を訪問すれば、直に

▽……白い顏 が斑になる 鼻が脂れ出す、額際に汗が滲む そして折角のお化粧は見た目に滑稽に終る例しが間間あります。これでは眞のお化粧の意義が成り立ちません。どうしたら美しくそして崩れないお化粧が出來ませうか

朝鮮牛疫病院御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

▽……若くて 美しい代議士婦人櫻井鈴子さんは語る「夏は着物も持ち物もそれからお化粧も總じて淡泊を旨といたし、あまり濃いものは用ひないやうにして居ります。ですからお化粧も

▽……襟に丈 練白粉を使ひ顏は粉白粉で、ごく淡く濟ませます。その順序を申しますと初めに石鹼でよく洗ひ、次に水白粉を刷毛でつけ、萬遍なくならしてからクリームをその上へうつすらと塗ます。それから黄いろい粉白粉をホツトではたき、牡丹刷毛ですつかりならし」いちばんおしまひに

▽……鼻の上 だけを白い粉白粉で叩いておくのですが、大抵はそれで一日はけずに保つて居ります。眉は、眉頭からいたしますと、非常にいかつく濃くなりますので、眞ん中から目尻の方へとだんだんに描がき、お終ひに眉頭をそつと描いておきます」もし

▽……頰紅を なさるならクリームをつける前に、うつすらと刷いておくと、自然の色に見えてよろしうございます。襟は顏をこしらへてから後で、顏の濃淡に準じてつけた方がよいと思ひます。もし外出して鼻の頭に汗の湧いた時は粉白粉を花刷毛でソツと叩いておきます。髮は日本髮にしろ束髮にしろ廻りをあまり出さず少し

▽……詰加減 に涼しく結ひ束髮なら淡紅色の珊瑚の珠か、或は翡翠の細工物をあつさりと挿します。丸髷でしたら手柄は白か水色といつたごく涼しさうなところを取ります。外出の時の着物は大抵、黑地明石か、白地明石、それでなければ古稀松葉の立絽縮緬へ

▽……銀糸で 雨を利かせたものなどを用ゐて居ります。黑地明石を着た時は帶は白か水色な博多、或は黑へ銀で漾と水球を散らした模樣などを締め、白地明石の時は、黑地へ銀絲のスッキリした刺繡物か、さもなければ水色か白を用ゐます、そして着物や

▽……手提げ の類も黑い着物の時は黑、白い着物の時は白を持ち、全體の色彩を出來る丈二た色とれでなければ、せいぜい三色位で濟ますようにいたします。柄もゴテッカないスッキリしたものを選び、下駄の鼻緒も大抵は白にいたして居ります。なるべく見た目に涼しさの漲るやうに、全體の調和をとりたいと存じまして——』（京）

◇赤茄子は……　―どうして食べる―

トマトーは滋養に於ても普通の果物よりも遙に勝つて居ります、只之を食られぬ人は最初一種の臭味が鼻について誠に食惡いものです然れば之を食慣れる迄には最初にゴールデントマトと云ふのを食るが宜しい、ゴールデンと云ふのは黄いのですが、是なれば臭味が比較的に少いから食宜しい、而してトマトーを食るには先づ最初に湯皮を剝いて薄く之を切つて、酢とか又はソースを掛けて食べます、酢は其の一種の臭氣を消しますから食べるに都合が宜しうございます、之で少し慣てからは鹽をつけて食べます、鹽で愈々慣たら今度は砂糖をつけて食べるが宜いのです、砂糖をつけて食べるは何よりも一番甘しいと言はれてゐます、元來トマトーの甘しい事は西洋でもトマトーの味と何とかは決して忘れられぬと言はれてる位です

◎滿支都市研究

東京市會議員の視察

東京市會議員十五名市吏員五名都……市を觀察することゝなれるが是れ東京市會に於て嚢に……

▲都市計畫調査會なるも……

……として建設せる新都市にして獨逸式の規律整然たる市街を形成し其の建物の如きも都市建築條令を施……時期到來すべく殊に東京市の如く不規則なる都市に於ては一層之を擧ぶの要あるべし第二は大連……北第一より第五までの區劃設計は……國の後を受けたる我國に於いて其之を經營しつゝある大都にして其……の觀察にして之は南滿第一の都市にして大祖の天命千年此の處を選びて遷都して以來今日に及べるも……ことゝなれるが是れ實に時勢が生める一新現象といふべし（大連）

◎鐵嶺官舎竹還元

……たるに非ぐものにして既に昨年の……聯合に於て試掘費支出の承認を得鐵道部にても其後著々採掘準備を……進行つゝある……すべし

日報歌壇

□京夜吟（其の十九）　青光雨

夕顏や淋しさの花何と何　夏の花

病臥　同

夏菊や厠に立つて懷爐置く　草綠

ダリヤ店の灯の前通る涼　同

子を連れて濯ぎ入來る蓮の花　同

夕顏や灯さず緣に我ありぬ　關川子

夏菊を狹く培へり料理人　田打夫

○旅行漫吟　夕潮生

狹内の夜の靜かなる風の音たゆれば遠く蟲の聲する

靜かなる狹内の夜に寂寥の喇叭はさやになり渡るかも

あけの夢ほのぐとたなびける遠き深線から　南山

ささやくと夕べの風の吹き入りて灯は深くもなりにけるかな

思ふまにさまよひて見む若き日の夢がり？京城の町

思ひきやはるけき旅路さすらひて君がなげきをひたに見んとは

○　京城　芳月

月の夜うつとりとして見てあればかすかに聞ゆ夏蟲の音

讀者の領分

○夏の磯　小松竹露

ゆつたりと追風はらめる船人の船影ゆれし過ぎけりまひる

小松原砂踏けならし行き行けば心地よろしもまひる日を知らず

夕されど此處な磯岩さりもせず海路はるかに見入れりわれか

▲受檢者に答ふ。七年度徴兵檢査旅費は目下總督府にて支出の手續中の由に付同府内務部に問合せらるべし又南鮮部に住する人に答ふ、兵種、氏名等不明に付何地、何月に召集せらるゝや回答し得ざるも第一回（九月）の分は既に命狀發送濟なり。次回は十一月とす（軍司令部）▲八月六日仁川發往復はがきにて軍司令部へ兵役關係な事を問せられたる方は居所氏名なきために回答する能はず至急通知あれ但し兵役關係は第一補充兵なり（軍司令部）▲子女子の御說の通り自分と賢明なる人も下女の使ひ方に至つてはゼロ然の十六日に半日なりせめて晩丈でも今は休みと云つた宅が果して幾戸有る少なりとも月に半日と二た晩位の自由を然り自由な彼等にも與へられん事を願ふ（下女使用者）▲京城に於て目下住宅向きの借家にて中以上の借家は借家に不足して居る少し京城府の借家を建築してもらひたいものだ連、毘日だらうかでも紳士連の一考を煩はす（一市民）

卒業せば男女でも無試驗にて製藥士
本校特定　この僅か三ケ月間に自宅で獨習を終へ就職又は開業の上は月收入多大方法次第數十圓より百圓以上あり今直ぐ入學せよ小學程度ハガキで申込規則書送呈
東京市本鄕追分町　日本通信藥學校

汽船 釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三琴平丸　七月　日後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行　第三琴平丸　七月　日後四時出
◎佐須奈、嚴原、博多行　天貞丸　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

請合藥 りん病　請合藥 ばい毒
京城南大門外停車場通　ドラッグ商會滿鮮本部
京城黄金町參丁目 電車通り　ドラッグ商會支店
▲にせ物あり御注意▼

共同汽船仁川出帆
大連南行（關東都督府命令船）
共同丸　八月十四日 前入港　八月十五日 後出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡輸送取扱 大連にて滿洲行荷客聯絡輸送取扱 阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話二七三番）野口商會
元山代理店　仲町（電話二四七番）田口回漕部
京城取次店　南大門通（電話二七六〇・八二一）河村運送店

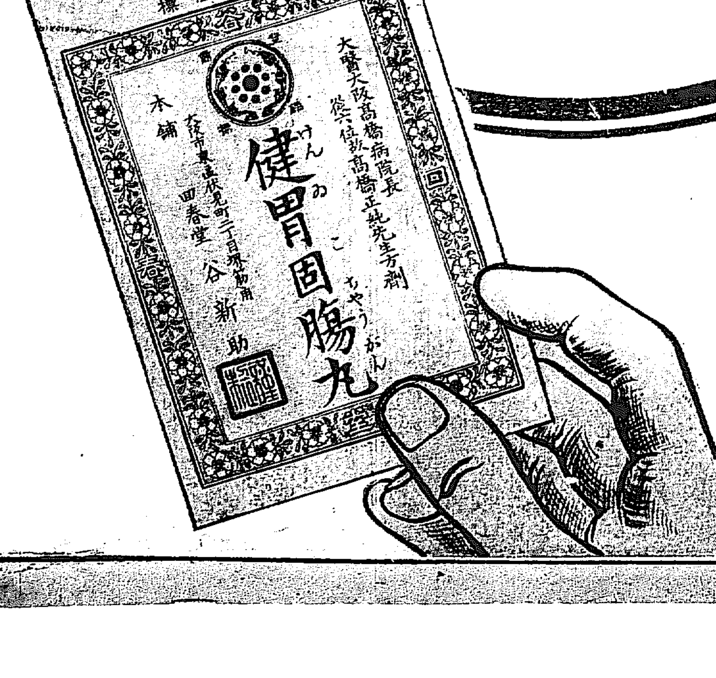
日本郵船仁川出帆
◎大連、天津牛莊行　相模丸　八月十八日
×酒田丸　八月八日 船客御斷
高砂丸　八月廿八日
仁川海岸町一丁目（電話十番）堀回漕部

大阪商船汽船出帆
△神戸、大阪行（仁川出帆）日清丸　八月廿一日 後五時出
×群山大阪行　安東丸　月　日 正午出
◉淸津行（元山出帆）安平丸　八月二十日 後十二時
◉釜山、門司、宇品、神戸、大阪行　宮島丸　八月十四日 後九時出
◉上海、基隆、打狗行（大連出帆）湖北丸　八月十二日 前八時出　基隆丸　八月廿七日 後六時出
內地各港出帆ノ主要航路
洲行　一年四回　北米行　每月一回
米行　一年四回　南米行　每月一回
洲行　每月一回　南洋行　每月一回
◎外國航路所屬ノ航路ヲ除ク
連絡御乘船ハ時間五分以前ニ
切符發賣ハ引渡連絡
道乘車客ト時間
迎乘客ヲ印本船
歐南濠御注意
京城 內國通運會社 旅館 京城荷物取扱所 電話二一〇番
仁川 京城荷發送 電話二七五〇番
商船 仁川本町一丁目 支店 電話七二二番

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、大阪行
第一太湖丸　八月十日後四時出
第二太湖丸　八月十九日後四時出
君が代丸　八月八日後四時出
大有丸　八月十四日後四時出
仁川海岸通二丁目（電話五九番）高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候ノ都合ニ依リ發著日時變更スル場合有之詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ
敦賀行　淸津、城津、元山經由
平壤丸　八月十五日　淸津發　八月十六日　元山發
◉浦汐行　大阪發門司釜山元山城津經由
平安丸　八月十二日　釜山發　八月十四日　元山發
◉雄基行　×印江原道各港セズ 關門發釜山各港經由
京畿丸　八月十三日　釜山發
忠清丸　八月十六日　元山發　八月十八日　釜山發　八月廿二日　元山發
◉元山雄基線　元山迎日各港經由
穩城丸　八月十日　元山發
◉大阪行　浦汐發淸津城津元山釜山神戸經由
越後丸　八月十六日　元山發　八月十八日　釜山發
◉金剛山遊覽便　元山發長箭行　八月六日迄毎日
鏡城丸　八月十二日　元山發
◉鬱陵島行　釜山發浦項及各港經由
爲德丸　八月十三日　釜山發
◉釜山浦項線　釜山發長生浦方魚津經由
江陵丸　每日　釜山發
◉濟州島行　釜山長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　八月十三日　釜山發
◉濟州島行　東廻八所安島經由
東廻 公州丸　八月九日
西廻 慶興丸　八月十一日　木浦發
◉釜山麗水線　統營丸　毎日　釜山發
海州丸　巨濟丸　毎日　麗水發
◉木浦麗水線　順天丸　八月十日　木浦發（以下三日目毎ニ木浦發）
◉多島海行　木浦發多島海各島行
公州丸　八月十四日　木浦發
◉木浦行　仁川發各地經由
金海丸　八月十三日　仁川發
◉海州行　仁川發江華島喬桐島經由
新江丸　南陽丸　毎日一回　仁川海州發
◉鎮南浦行　仁川發各港經由
晉州丸　八月十日　仁川發
◉靑島行　仁川發各港經由
山陽丸　八月十五日　仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社　京城南大門通　電話一一九五・二二三三・二二三二
釜山港　佐藤町　釜山支店
元山港　海岸通　元山出張所
仁川港　代理店　堀回漕部
木浦港　代理店　山野回漕部
京城荷客取扱店　京城南大門驛前　松原運送店　電話二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり

下痢と腹痛を治し腸胃を健全にす
健胃固腸丸
主治
△食べ過ぎ　△飲み過ぎ　△寢冷　△水傷り
△時候の障り　△其他下痢病　腹痛に偉大なる効驗あり
藥價　三十粒入 拾錢　七拾粒入 貳拾錢　貳百粒入 五拾錢　四百廿粒入 壹圓　千三百粒入 參圓　二千二百粒入 五圓
常用すれば腸胃を强くし流行病、惡疫に罹る憂なし
服用し易き小粒健胃固腸丸及び兒童專門の小兒固腸丸あり
登錄商標
本舖　大阪市東區伏見町二丁目　東京市日本橋區新乘物町　谷回春堂
振替口座　大阪一七〇番　東京八三〇番



▲各地藥店に販賣す
商標及本舖の名義に御注意あれ